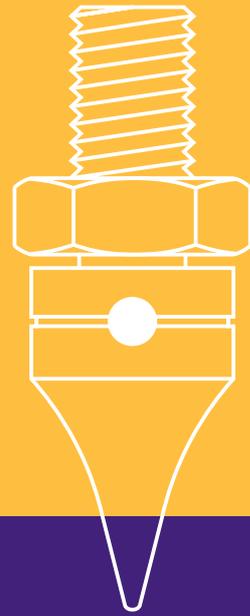


# 2023

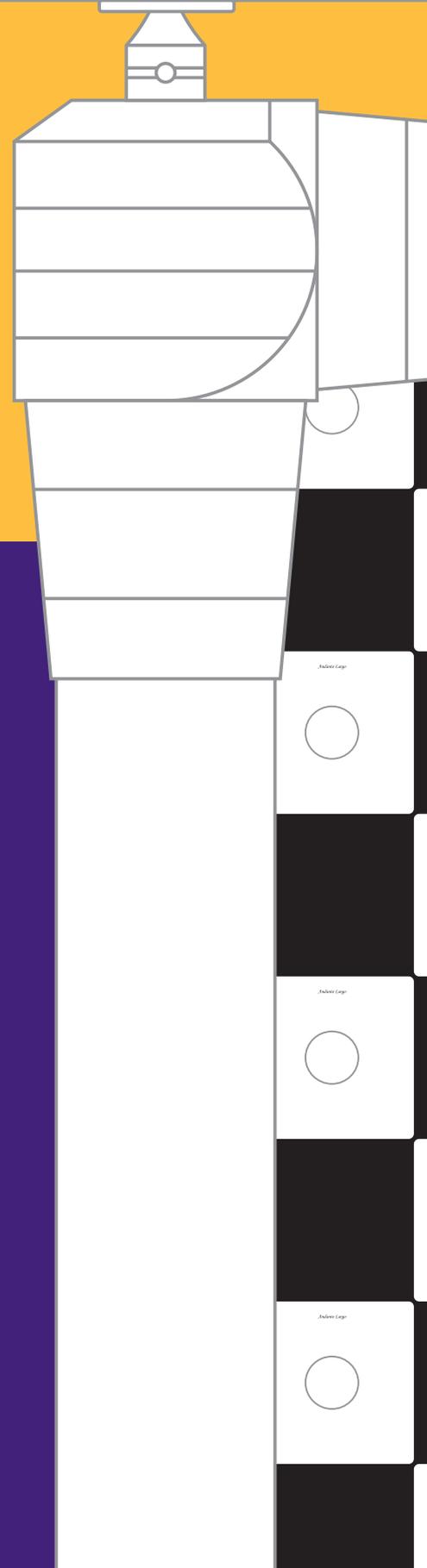
## *Andante Largo*



2022-2023



For The Feeling of Presence



Super  
接点安定剂  
STMD-10 TMD  
*Andante Largo*

# Contents

もくじ

ジャンル	ページ	タイトル
ラック類	2	ラック・テーブル・ボードの設計について
ラック類	4	グランドシリーズ
ラック類	8	リジッドシリーズ
ボード	12	ウィーフォーク ボード
スパイク受け	14	サイレントマウントとソリッドマウント
レコード内袋	20	ALスリーブ
接点安定剤	22	スーパー TMD
スパイク	24	スルーホール スパイク
全製品	26	1 週間のデモ機お試し貸出しについて
全製品	28	ユーザー様 で使用例
全製品	32	アンダンテラルゴの3つの音質評価スケール
ラック類	36	寸法表 および 各種オプション
全製品	45	保証について

アンダンテラルゴオリジナル製品カタログをご覧ください、誠にありがとうございます。弊社の輸入製品「コードカンパニー(英国/ケーブル等)」と「ハンル(ドイツ/レコードクリーナー)」のカタログは別途ご用意しております。無料で送付も承っておりますので、下記連絡先までお気軽にご用命ください。

- カタログ お申し込みフォーム (QR-1)  
: [www.andante-largo.com/catalog-form](http://www.andante-largo.com/catalog-form)
- フリーダイヤル: 0120-77-3412 (カタログ請求受付: 月~金 10~15時 / 祝日等除く)
- 住所 (お手紙): 〒189-0013 東京都 東村山市 栄町 2-31-16-201
- メール: [info@andante-largo.com](mailto:info@andante-largo.com)
- FAX: 042-394-7155
- ホームページ上で閲覧「コードカンパニー」(QR-2)  
: [www.andante-largo.com/catalogue-chordcompany](http://www.andante-largo.com/catalogue-chordcompany)
- ホームページ上で閲覧「ハンル」(QR-3)  
: [www.andante-largo.com/catalogue-record-cleaner](http://www.andante-largo.com/catalogue-record-cleaner)



QR-1  
(カタログ請求)



QR-2  
(コードカンパニー PDF)



QR-3  
(ハンル PDF)



CHORD  
COMPANY



HANNL

# Grand Series

グランドシリーズ



# Rigid Series

リジッドシリーズ



# Weefolk Board

ウィーフォーク ボード



共通の  
設計ポリシー

Technology of RACK, TABLE and BOARD

ラック・テーブル・ボードの設計について

アンダンテラルゴのラック類(ラック・テーブル・ボード)は全て、下記のポリシーで設計されています。

## 「軽量」

例：パイプのジョイント等の超々ジュラルミン製パーツ  
チタン製パイプ/棚板のくり抜き等(※)

重量級のラックやボードは振動に強い(振動しにくい)と思われがちですが、実際にはスピーカーからのエネルギー等によって必ず振動しています。ラックやボードの重量と搭載機器の重量が合わさり、より低い周波数帯で共振しているのです。

そして重量が大きいものが1度振動し始めると、すぐには静止しません。これが精密な機器にとっては非常に大きなストレスとなり、再生音に悪影響を及ぼします。

軽いラックやボードの利点は慣性重量が小さいため、オーディオ・映像環境において難題である振動の減衰が容易になることです。そのため、ラック類は軽量に設計すべきであると考えております。(GT503 Midの場合、総重量は11.4kg)

## 「堅牢」

例：パイプのジョイント等の超々ジュラルミン製パーツ  
チタン製パイプ/高強度な構造用接着剤「3M DP-460」等(※)

一般的な組み立て式のラックには、拡張性等のメリットがあります。しかしネジを多用した構造体は強度の安定した確保が難しく、揺れやすくなる傾向があります。また長期間使用するうちに振動や湿度、気温の上下等でネジが緩み、これも揺れの原因となります。「軽量」の項目と少し重複しますが、強度不足による振動も機器の動作上、大きな障害となります。

アンダンテラルゴのラック類は、拡張性等の「使いやすさ」よりもオーディオ・映像用アクセサリとしての「本質」を追求。素材や構造を徹底的に吟味し、極めて高強度な設計としています。堅牢でかつそれを半永久的に持続させること・・・それは、こだわりの機器のパフォーマンスを最大限に引き出すために、必要不可欠なのです。

## 「コンパクト」

例：装飾を排したシンプルなデザイン  
多彩なサイズ展開等

ラックを必要以上に大きくすると重量は増え、強度の確保も難しくなり、結果的に振動に弱くなります。

必要最小限なサイズに留めることは、軽量・堅牢設計への近道です。そのため、極力無駄を排したシンプル・コンパクトな設計とし、多彩なサイズ展開をご用意しています。

## 「制振」

例：パイプ内部のシリコン・羊毛・キャンセルボール  
棚板のくり抜き等(※)

上記の3項目も制振において不可欠ですが、その他にも様々な技術を盛り込んでいます。軽量・堅牢な構造物ほど高いレベルが要求される「鳴き」のコントロールを、最小限の重量増で実現しています。

※ ウィーフォークボードは構造が一部異なります

・ Grand Tower 用 コーナージョイント  
(超々ジュラルミン製)



・ 棚板のくりぬき (写真は「KT」形状)



・ パイプ内部の制振処理(※)



GT503Mid、GS621、GB540  
スパイク受けは別売です



## GRAND SERIES

グランドシリーズ

ラック・テーブル・ボード

## 概要 (技術的詳細は次ページへ)

リジッドシリーズ(8ページ参照)開発時のポリシー「**軽量・堅牢・コンパクト・制振**」を守りつつ、**コストの制約無しに理想を追求**した結果、グランドシリーズが誕生しました。特に強度を決定付けるパイプのジョイント部は、ジュラルミン A7075 を用いた完全新設計です。

カラーやサイズ、段数等の多彩なバリエーションから、お持ちのシステムにぴったりの仕様を1台1台ハンドメイドで製作いたします。

GT683は、1週間のお試し貸出し(26ページ参照)も承っております。私共の考える「**究極のラック**」をぜひご体験ください。

## Grand Tower (グランタワー/多段ラック)

### GT 743 Mid

① ② ③

- ① 高さ : 「74」の場合・・・全高74cm
- ② 段数 : 「3」の場合・・・3段
- ③ 棚板サイズ : (表記ナシ)・・・620×517mm  
「Mid」・・・540×445mm

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| ● GT 934 ￥1,700,000 | ● GT 864 ￥1,670,000 |
| ● GT 935 ￥1,800,000 | ● GT 865 ￥1,770,000 |
| ● GT 743 ￥1,500,000 | ● GT 683 ￥1,470,000 |
| ● GT 744 ￥1,600,000 | ● GT 684 ￥1,570,000 |
| ● GT 552 ￥1,300,000 | ● GT 502 ￥1,270,000 |
| ● GT 553 ￥1,400,000 | ● GT 503 ￥1,370,000 |
- Midモデルは上記より￥-100,000

○ サイズやオプション等は、巻末の寸法表をご参照ください



GT683



・ GT683 + SM-5TX (使用例)

## Grand Solo (グランソロ/プレーヤー台)

### GS 542

① ②

- ① 棚板サイズ
  - 「49」・・・490×400mm
  - 「54」・・・540×445mm
  - 「62」・・・620×517mm
  - ② 段数
  - 「1」・・・1段
  - 「2」・・・2段
- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| ● GS 491 ￥940,000   | ● GS 492 ￥990,000   |
| ● GS 541 ￥1,070,000 | ● GS 542 ￥1,130,000 |
| ● GS 621 ￥1,150,000 | ● GS 622 ￥1,230,000 |

◎ 高さは全て 445mm  
○ サイズやオプション等は、巻末の寸法表をご参照ください



GS 541



・ GS541 + SM-5TX (使用例)

## Grand Base (グランベース/オーディオボード)

### GB 490

◎ 棚板サイズ

- ◎ 「49」・・・490×400mm
  - ◎ 「54」・・・540×445mm
  - ◎ 「62」・・・620×517mm
- |                   |
|-------------------|
| ● GB 490 ￥396,000 |
| ● GB 540 ￥451,000 |
| ● GB 620 ￥506,000 |

◎ 高さは全て 110mm  
○ サイズやオプション等は、巻末の寸法表をご参照ください



GB 540



・ GB540 + SM-3TX (使用例)

## 軽量で強固なチタンパイプ

フレームには、32mm 径 / 1mm 厚のチタン製パイプを採用。下記のようなメリットがあり、オーディオラックに最適な素材であると考えております。

- 軽量なため、振動のコントロールがしやすい
- 強度が高い
- 非磁性体である
- 素材特有の、音へのキャラクター付けが少ない
- 錆びに強い
- 繋ぎ目の無い1本モノのパイプを使用しているため、経年劣化の心配も少ない



## パイプ内部の制振処理

全てのチタンパイプ内部に3つの制振処理を施しています。堅牢なフレームほど難しくなる振動のコントロールを、最小限の重量増で実現しました。

### ① 内壁へのシリコンコーティング (2重)

→ 試聴により厳選したシリコン材を使用。パイプ全体の振動と、内部での共鳴音を抑えます。

### ② 「キャンセルボール」の配置

→ パイプ中央の内壁、シリコンコーティング上に「キャンセルボール」を設置。ある程度自由に動く金属ボールとパイプが、互いの振動を打ち消し合います。サイレントマウントテクノロジー (15 ページ参照) の応用技術です。

### ③ 吸音材の挿入

→ 上記2点の処理後、空洞部分にオーストラリア産の羊毛を挿入して内部の共鳴を防ぎます。特有の音色も乗らず、軽量の素材です。



## 特殊な積層合板による棚板

十分な強度を確保しつつ、素材特有のキャラクターで再生音に色付けしないことを最優先として開発された特殊な積層合板です。

また、棚板自体の制振と軽量化、そして機器～棚板間の共鳴を防ぐため、中央には非対称形状の開口部を設けています (KT タイプ天板の場合)。

棚板には標準の「KT」タイプの外、各種形状をご用意しています。厚さは2種、色は3種展開。詳細は巻末の「寸法表」をご覧ください。



## フレーム製作に構造用接着剤

雑音の発生や音・映像の混濁を防ぐため、フレームづくり (ジョイントとパイプの組み付け等) に溶接やネジは使用していません。

■ 溶接・・・溶接する箇所により、熱による膨張・収縮が発生します。そのためフレームを組み立てた際には、全体に歪み (= ストレス) が残ってしまいます。

■ ネジ止め・・・強度の確保が難しい上、経年と共にネジが緩んで強度が低下します。また、組み立て方によっても強度に大きな差が発生します。



フレームの組み立てには精密な治具を使用。各棚板を支持する4点の高低誤差を **0.1mm以下** に抑えています。

## 中間・最下段ブラケットも超々

グランタワーでは、中間段の棚板の支持にも超々ジュラルミン製の特注ブラケットを使用しています。

「コーナージョイント」と同様に、超々ジュラルミン A7075 からの精密切削で製作。構造用接着剤 (3M™ Scotch-Weld™ Structural Glue DP-460) を用いつつ、厳格な位置出し (水平・左右) でチタンパイプにしっかりと固定しています。

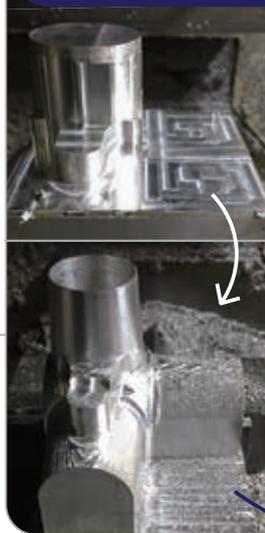
## 超々ジュラルミン製「コーナージョイント」

アンダンテラルゴでは、フレームづくりに高強度な構造用接着剤 (3M™ Scotch-Weld™ Structural Glue DP-460) を使用しています。

航空機やレーシングカーでも用いられるもので、ストレスを残すことなく組み上げつつ、十分な強度を永く保つことができます。



(スパイク受けは別売です)



パイプフレーム構造では、各パイプを繋ぐジョイント部に最も強度が要求されます。堅牢・軽量を追求し、「コーナージョイント」は超々ジュラルミン A7075 からの精密切削で製作。

また、パイプを外側から包む(リジッドシリーズは内側に入る)形状により、接着面積が飛躍的に拡大。堅牢なフレームを構成する上で最も重要な部品です。



## スパイクによる支持

各棚板の支持と脚部には、スパイクを採用しています。スパイクでの支持には、大きく分けて2つのメリットがあります。

- 振動伝達の軽減  
→ ラックに載せた機器同士の干渉や、スピーカーからプレーヤー等への、床やラックを介した振動伝達を軽減できる
- 安定した設置  
→ 明確な接地によりグラつきにくい  
→ いざ発生した振動も素早く止められる



このように機器を安定して設置しつつ、振動を効率的にカットできるため、オーディオ・映像機器の設置においてスパイクは欠かせないものと考えております。



棚板用のスパイクと、それを受け止める「トップマウント」は、1000 個ほどの中からデジタルノギスを用いて 0.01mm の精度で高さの合う 4 個をマッチングし、各段ごとに(混ぜずに)使用します。歪みのない設置を追求する上で、欠かせないポイントです。



脚部のスパイクには、精密な高さ調整機構を採用。通常よりも細かいピッチ(ネジが1回転して進む距離)で、繊細な調整が可能な設計です。

調整後は、六角レンチでしっかりとフレームに一体化。ガタのない堅牢な設置で、ラックおよび機器のパフォーマンスを支えます。



オプションにて、棚板用スパイク受け(トップマウント)に高性能モデル「チタントップマウント」をご用意しております(標準ではステンレス製が付属します)。詳細は巻末の「寸法表」をご参照ください。

## ジュラルミン

最下段はコーナージョイントと一体成型↓



RT683、ALT600、ALB12  
スパイク受けは別売です



## RIGID SERIES

リジッドシリーズ

ラック・テーブル・ボード

## 概要 (技術的詳細は次ページへ)

最初のアンダンテラゴ製品であるリジッドシリーズ。「軽量・堅牢・コンパクト・制振」を最重視した結果、一般的なラックのような拡張性、流通性など、商業的観点からは大きく離れた製品となりました。

同時に音質を徹底追求したラックとして、おかげさまで10年以上のロングセラーとなっております。RT683は1週間のお試し貸出し(26ページ参照)にてご体験いただけます。

### ○名称と型番変更のお知らせ

ここ数年で「S」と「T」(後述)が全てのリジッドシリーズで標準装備となったため、下記の様に型番を変更いたしました。また、「リジッドサブテーブル」は「リジッドベース」へ名称を変更いたしました。今回、製品自体の仕様に変更はございません。

例1: Tower S 684 → RT 684    例2: ALT S 520T → ALT 520    例3: ALT S 520 Sub / T2 → ALB 520 / 2

S: サイレンステクノロジー(パイプ内部のキャンセルボール)

T: チタンパイプを使用(Rigid Towerシリーズは発売当初よりチタンのみ)



・ ALT12 + Solid Base Attachment (使用例)



・ ALB520 + SM-3TX (使用例)



## Rigid Tower (リジッドタワー/多段ラック)

### RT 683 Mid

① ② ③

- ① 高さ : 「68」の場合・・・全高68cm
- ② 段数 : 「3」の場合・・・3段
- ③ 棚板サイズ : (表記ナシ)・・・600 × 480 mm  
「Mid」・・・520 × 410 mm

- RT 864 ￥760,000    ● RT 502 ￥560,000
- RT 865 ￥810,000    ● RT 503 ￥610,000
- RT 866 ￥860,000    ● RT 504 ￥660,000
- RT 683 ￥660,000    ● Mid モデルは￥-50,000
- RT 684 ￥710,000    ○ サイズやオプション等は巻
- RT 685 ￥760,000    末の寸法表をご覧ください



## Rigid Table (リジッドテーブル/プレーヤー台)

### ALT 520

◎ 棚板サイズ

- ◎ 「12」・・・470 × 370 mm    ● ALT 12 ￥360,000
- ◎ 「520」・・・520 × 410 mm    ● ALT 520 ￥400,000
- ◎ 「600」・・・600 × 480 mm    ● ALT 600 ￥440,000

- ◎ 高さは全て465mm
- サイズやオプション等は巻末の寸法表をご参照ください



## Rigid Base (リジッドベース/オーディオボード)

### ALB 600 / 2

① 棚板サイズ ② 高さ

- ① 「12」・・・470 × 370 mm    ● ALB 12 ￥193,000
- ① 「520」・・・520 × 410 mm    ● ALB 520 ￥218,000
- ① 「600」・・・600 × 480 mm    ● ALB 600 ￥266,000

- ◎ 表記ナシ : 90mm
- ◎ 「/2」 : 130mm



- 「/2」は￥+12,000
- サイズやオプション等は巻末の寸法表をご参照ください

## 軽量で強固なチタンパイプ

フレームには 25mm径/1mm厚のチタン製パイプを採用。下記の様なメリットがあり、オーディオラックに最適な素材であると考えております。

- 軽量なため、振動のコントロールがしやすい
- 強度が高い
- 非磁性体である
- 素材特有の、音へのキャラクター付けが少ない
- 錆びに強い
- 繋ぎ目の無い1本モノのパイプを使用しているため、経年劣化の心配も少ない



## パイプ内部の制振処理

全てのチタンパイプ内部に3つの制振処理を施しています。堅牢なフレームほど難しくなる振動のコントロールを、最小限の重量増で実現しました。

### ① 内壁へのシリコンコーティング(2重)

→ 試聴により厳選したシリコン材を使用。パイプ全体の振動と、内部での共鳴音を抑えます。

### ② 「キャンセルボール」の配置

→ パイプ中央の内壁、シリコンコーティング上に「キャンセルボール」を設置。ある程度自由に動く金属ボールとパイプが、互いの振動を打ち消し合います。サイレントマウントテクノロジー(15ページ参照)の応用技術です。

### ③ 吸音材の挿入

→ 上記2点の処理後、空洞部分にオーストラリア産の羊毛を挿入して内部の共鳴を防ぎます。特有の音色も乗らず、軽量の素材です。



## 特殊な積層合板による棚板

十分な強度を確保しつつ、素材特有のキャラクターで再生音に色付けしないことを最優先として開発された特殊な積層合板です。

また、棚板自体の制振と軽量化、そして機器～棚板間の共鳴を防ぐため、中央には非対称形状の開口部を設けています(KTタイプ天板の場合)。

棚板には標準の「KT」タイプの外、各種形状をご用意しています。厚さは2種、色は3種展開。詳細は巻末の「寸法表」をご覧ください。

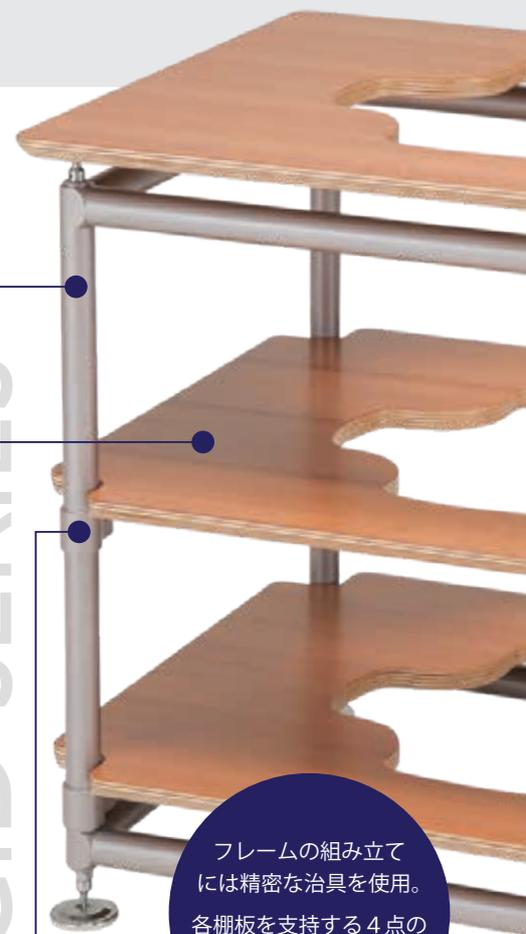


## フレーム製作に構造用接着剤

雑音の発生や音・映像の混濁を防ぐため、フレームづくり(ジョイントとパイプの組み付け等)に溶接やネジは使用していません。

■ 溶接・・・溶接する箇所により、熱による膨張・収縮が発生します。そのためフレームを組み立てた際には、全体に歪み(=ストレス)が残ってしまいます。

■ ネジ止め・・・強度の確保が難しい上、経年と共にネジが緩んで強度が低下します。また、組み立て方によっても強度に大きな差が発生します。



RIGID SERIES

フレームの組み立てには精密な治具を使用。各棚板を支持する4点の高低誤差を0.1mm以下に抑えています。

## 中間・最下段ブラケットは超々

リジッドタワーでは、中間・最下段の棚板の支持に特注のブラケットを使用しています。

超々ジュラルミン A7075 からの精密切削で製作。高強度な構造用接着剤(3M™ Scotch-Weld™ Structural Glue DP-460)を用いつつ、厳格な位置出し(水平・左右)でチタンパイプにしっかりと固定しています。

アンダンテラルゴでは、フレームづくりに高強度な構造用接着剤 (3M™ Scotch-Weld™ Structural Glue DP-460) を使用しています。

航空機やレーシングカーでも用いられるもので、ストレスを残すことなく組み上げつつ、十分な強度を永く保つことができます。



(スパイク受けは別売です)

## アルミダイキャスト製「コーナージョイント」

フレームのコーナー部に使用する3方(2方)ジョイント「コーナージョイント」は、アルミダイキャストから精密切削で製作。応力のかかり方を徹底的に研究した上で設計し、軽さと堅牢性を両立させています。



パイプとの接合部には無数の溝を配し、接着強度を飛躍的に向上させました。



## スパイクによる支持

各棚板の支持と脚部には、スパイクを採用しています。スパイクでの支持には、大きく分けて2つのメリットがあります。

- 振動伝達の軽減  
→ ラックに載せた機器同士の干渉や、スピーカーからプレーヤー等への、床やラックを介した振動伝達を軽減できる
- 安定した設置  
→ 明確な接地によりグラつきにくい  
→ いざ発生した振動も素早く止められる



このように機器を安定して設置しつつ、振動を効率的にカットできるため、オーディオ・映像機器の設置においてスパイクは欠かせないものと考えております。



棚板用のスパイクと、それを受け止める「トップマウント」は、1000個ほどの中からデジタルノギスを用いて0.01mmの精度で高さの合う4個をマッチングし、各段ごとに(混ぜずに)使用します。歪みのない設置を追求する上で、欠かせないポイントです。



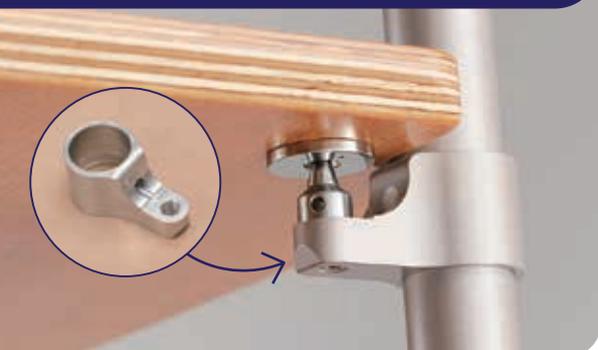
脚部のスパイクには、精密な高さ調整機構を採用。通常よりも細かいピッチ(ネジが1回転して進む距離)で、繊細な調整が可能な設計です。

調整後は、六角レンチでしっかりとフレームに一体化。ガタのない堅牢な設置で、ラックおよび機器のパフォーマンスを盤石に支えます。



オプションにて、棚板用スパイク受け(トップマウント)に高性能モデル「チタントップマウント」をご用意しております(標準ではステンレス製が付属します)。詳細は巻末の「寸法表」をご参照ください。

## ジュラルミン



上から WF-320、WF-470、WF-520、WF-600  
スパイク受け(写真はSD-3)は別売です



## WEEFOLK BOARD

ウィーフォークボード

オーディオボード

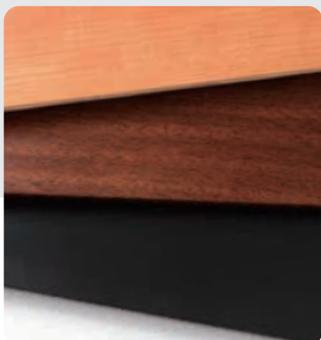
## ラインナップ

- カラーは3種類 (写真、上からアメリカンチェリー / ダークマホガニー / ブラックオーク)
- サイズ等の詳細は巻末の寸法表をご参照ください

● 穴なし天板でも製作可

- WF-320・・・ ¥55,000 (320 × 285 × 70 mm)
- WF-470・・・ ¥60,000 (470 × 370 × 70 mm)
- WF-520・・・ ¥68,000 (520 × 410 × 70 mm)
- WF-600・・・ ¥75,000 (600 × 480 × 70 mm)

付属品：ガタ調整 専用工具 (スパナ・棒)



○ スパイク受け (推奨)

- SD-3 / B4・・・ ¥16,500 (ブラック / 4個組)
- SM-5X / B4・・・ ¥38,000 (ブラック / 4個組)
- SM-5X / P4・・・ ¥41,000 (ポリッシュ / 4個組)

## 詳細

専用設計のスパイク脚や非対称な開口部の採用等、リジッドシリーズ開発の際に得たノウハウを盛り込みつつ、コンパクトにデザインしたオーディオボードです。

シンプルな設計の中に他シリーズと同様、「軽量・堅牢・コンパクト・制振」のコンセプトが凝縮されています。1週間のお試し貸出し (26ページ参照) も承っております。

単体での使用はもちろん、WF-320 等の小さめのモデルをひと回り大きいグランソロやリジッドテーブルと併用することで、スタイリッシュな2段構成でもお使いいただけます。

## こだわり

- 脚部の先端には、床等からの振動伝達を効率的にカットするスパイク機構を採用。優れた振動制御と、(専用工具による)ガタの無い精密な高さ調整が、機器の安定した動作に大きく貢献します。
- 脚部 (黒い部品) には高強度なアルミ素材からの精密切削を採用。
- 天板と脚部の接合部には、弊社グラウンドシリーズの他、レースカー等にも用いられる超高強度な接着剤「3M™ Scotch-Weld™ Structural Glue DP-460」を使用。
- 天板には非対称形状の開口部を設け、機器底面との間で発生するレゾナンスや天板自身の共鳴を抑制。形状の詳細は巻末「寸法表」をご参照ください。(穴無し天板もご用意)
- 天板の素材には制振性と強度、(湿度等による)歪みにくさを高次元で実現する特殊な積層合板を採用。
- 耐荷重 40kg (4点脚の場合。3点脚の機器や複数台を載せる場合は 30kg)

構造用接着剤  
DP-460



(スパイク受けは別売です)



付属の  
専用工具による精密なガタ調整

・ WF-470 + SD-3 (使用例)



・ ALT12 + WF-320 + SM-5X + SD-3 (使用例)





## SILENT MOUNT & SOLID MOUNT

サイレントマウントとソリッドマウント

SD スパイク受け

## スパイク脚本来のメリットは？

- 振動伝達の軽減  
→ 機器同士の振動伝達、特にスピーカーからプレーヤー等への、床やラックを介した振動伝達を軽減できる
- 安定した設置  
→ 明確な接地により機器のグラつきを防ぐ  
→ いざ発生した共振も素早く止められる (= ずっと揺れたまま、という状態を防ぐ)

このように機器を安定して設置しつつ振動を効率的にカットできるため、オーディオ・映像機器の設置にはスパイク脚がベストの方式であると考えております。

## アンダンテラルゴのスパイク受けは

スパイク脚ならではの「振動の減衰」と「安定した設置」を最大限に活かすため、下記の2点を重視して設計しました。

- ① 徹底した低重心設計  
→ スパイクを受け止める高さを極限まで低くし、低重心化によって安定させる (横揺れしやすくと、スピーカーの場合はエネルギーが逃げ、ラックは揺れたままになりやすい)
- ② スパイクを強固に受け止めつつも、スパイク受け自身の振動は抑えて素材特有の音色づけや歪みを排除すること  
→ サイレントマウントテクノロジーの開発・採用 (ソリッドマウントシリーズを除く)

その他、素材や形状に研究を重ねた結果、しなやかな表情、時にダイナミックなサウンドなど、作り手が伝えたい本来の表現を引き出します。

また、ソリッドマウントシリーズでは、サイレントマウントテクノロジーは非搭載ながら、サイレントマウント開発の際に得た他の様々なノウハウ (適切な素材選択や形状等) を盛り込むことで、サイレントマウントに迫る性能とリーズナブルな価格を両立しています。

## サイレントマウントテクノロジーとは

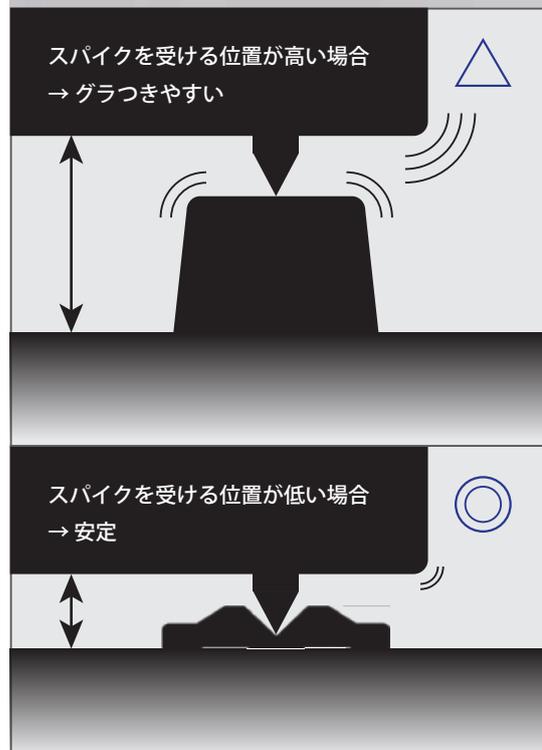
スパイクをしっかりと受け止められる強固な素材は、単体では軽く弾くだけで「チーン」と鳴ってしまう、すなわち共鳴しやすいものばかりです。そしてそれらの試作品では、各々の素材特有の色付けが音楽に現れてしまいました。

この素材特有の鳴きを抑えるため、もう一つの金属素材 (キャンセルリング) を裏面に組み合わせ、2重構造とすることで共鳴をキャンセルさせる (打ち消す) 技術が「サイレントマウントテクノロジー」です。

スパイクをしっかりと受け止めるための「堅牢」と「制振」を両立しています。

## お試し貸出し (1週間) 対象製品

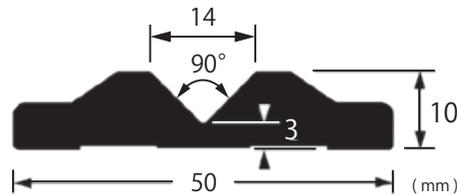
サイレントマウントシリーズ、およびソリッドマウントシリーズは、1週間のお試し貸出し対象製品です。本製品の効果やお手持ちの機器との適合を、ご自宅ですっきりお試しください。詳細は26ページをご覧ください。



## Silent Mount SM-5X

ラック・プレーヤー・アンプ用のスタンダードモデル。

- 本体の材質 特殊ステンレス
- 構造 サイレントマウントテクノロジー採用 (2重構造)
- カラー ブラック / ポリッシュ
- 用途 ラック、プレーヤー、アンプ等
- 対応スパイク 先端の角度が 70° 以内のもの
- 耐荷重 80kg (1個 / 静荷重時)
- 付属品 フェルトシール / 取付補助工具
- 重量 100g (1個あたり)



### ● ラインナップ

SM-5X/B4 ¥38,000  
(ブラック / 4個入)

SM-5X/B3 ¥29,500  
(ブラック / 3個入)

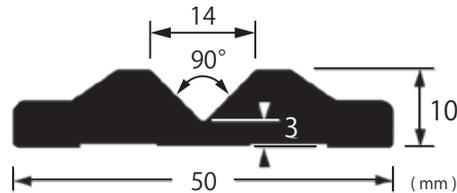
SM-5X/P4 ¥41,000  
(ポリッシュ / 4個入)

SM-5X/P3 ¥31,800  
(ポリッシュ / 3個入)

## Silent Mount SM-5TX

ラック・プレーヤー・アンプ用の高性能モデル。  
軽量で制振性に優れるチタン削り出しボディを採用。

- 本体の材質 チタン
- 構造 サイレントマウントテクノロジー採用 (2重構造)
- カラー ポリッシュ
- 用途 総重量25kg以上のラック、プレーヤー、アンプ等
- 対応スパイク 先端の角度が 70° 以内のもの
- 耐荷重 80kg (1個 / 静荷重時)
- 付属品 フェルトシール / 取付補助工具
- 重量 60g (1個あたり)



### ● ラインナップ

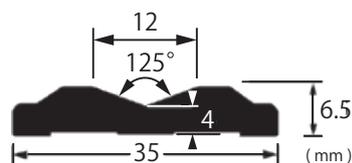
SM-5TX/P4 ¥80,000  
(ポリッシュ / 4個入)

SM-5TX/P3 ¥61,000  
(ポリッシュ / 3個入)

## Silent Mount SM-3TX

軽量なプレーヤー・アンプ・プレーヤー台等に特化した設計。  
5TXより更に小型ゆえ軽量な、チタン削り出しボディ。  
総重量25kg以下の軽量な搭載物にベストマッチです。

- 本体の材質 チタン
- 構造 サイレントマウントテクノロジー採用 (2重構造)
- カラー ポリッシュ
- 用途 総重量25kg以下のラック、プレーヤー、アンプ等
- 対応スパイク 先端の角度が 100° 以内のもの
- 耐荷重 80kg (1個 / 静荷重時)
- 付属品 フェルトシール
- 重量 60g (1個あたり)



### ● ラインナップ

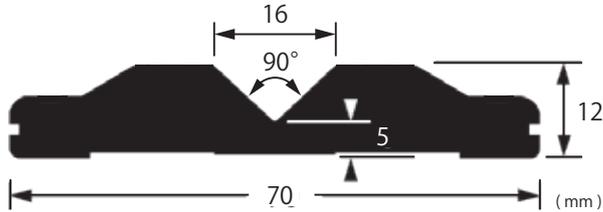
SM-3TX/P4 ¥52,800  
(ポリッシュ / 4個入)

SM-3TX/P3 ¥40,800  
(ポリッシュ / 3個入)

## Silent Mount SM-7X

スピーカー用のスタンダードモデル。

- 本体の材質 特殊ステンレス
- 構造 サイレントマウントテクノロジー採用(2重構造)
- カラー ブラック/ポリッシュ
- 用途 スピーカー
- 対応スパイク 先端の角度が70°以内のもの
- 耐荷重 150kg(1個/静荷重時)
- 付属品 フェルトシール/取付補助工具
- 重量 240g(1個あたり)



### ● ラインナップ

SM-7X/B4 ¥48,400  
(ブラック/4個入)

SM-7X/B3 ¥37,500  
(ブラック/3個入)

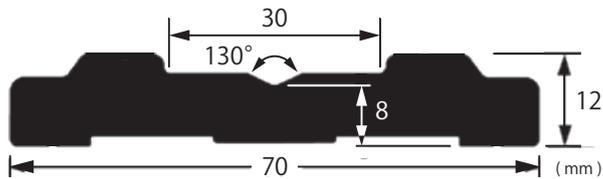
SM-7X/P4 ¥52,800  
(ポリッシュ/4個入)

SM-7X/P3 ¥40,800  
(ポリッシュ/3個入)

## Silent Mount SM-7FX

SM-7Xをベースに、用途を広げました。  
鈍角スパイクや平型脚にも対応しています。

- 本体の材質 特殊ステンレス
- 構造 サイレントマウントテクノロジー採用(2重構造)
- カラー ブラック/ポリッシュ
- 用途 スピーカー
- 対応スパイク 先端の角度が110°以内のもの
- 耐荷重 150kg(1個/静荷重時)
- 付属品 フェルトシール/取付補助工具
- 重量 240g(1個あたり)
- その他 平型脚にも対応(直径または対角が30mm以内)



### ● ラインナップ

SM-7FX/B4 ¥55,000  
(ブラック/4個入)

SM-7FX/B3 ¥42,500  
(ブラック/3個入)

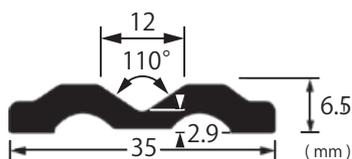
SM-7FX/P4 ¥59,400  
(ポリッシュ/4個入)

SM-7FX/P3 ¥45,800  
(ポリッシュ/3個入)

## Solid Mount SD-3

形状等にノウハウを投入し、単一構造でも  
十分な制振性と音質効果を発揮するエントリーモデル。

- 本体の材質 特殊ステンレス
- 構造 制振形状の単一構造(サイレントマウントテクノロジー非搭載)
- カラー ブラック
- 用途 総重量25kg以下のラック、プレーヤー、アンプ等
- 対応スパイク 先端の角度が100°以内のもの
- 耐荷重 30kg(1個/静荷重時)
- 付属品 フェルトシール
- 重量 35g(1個あたり)



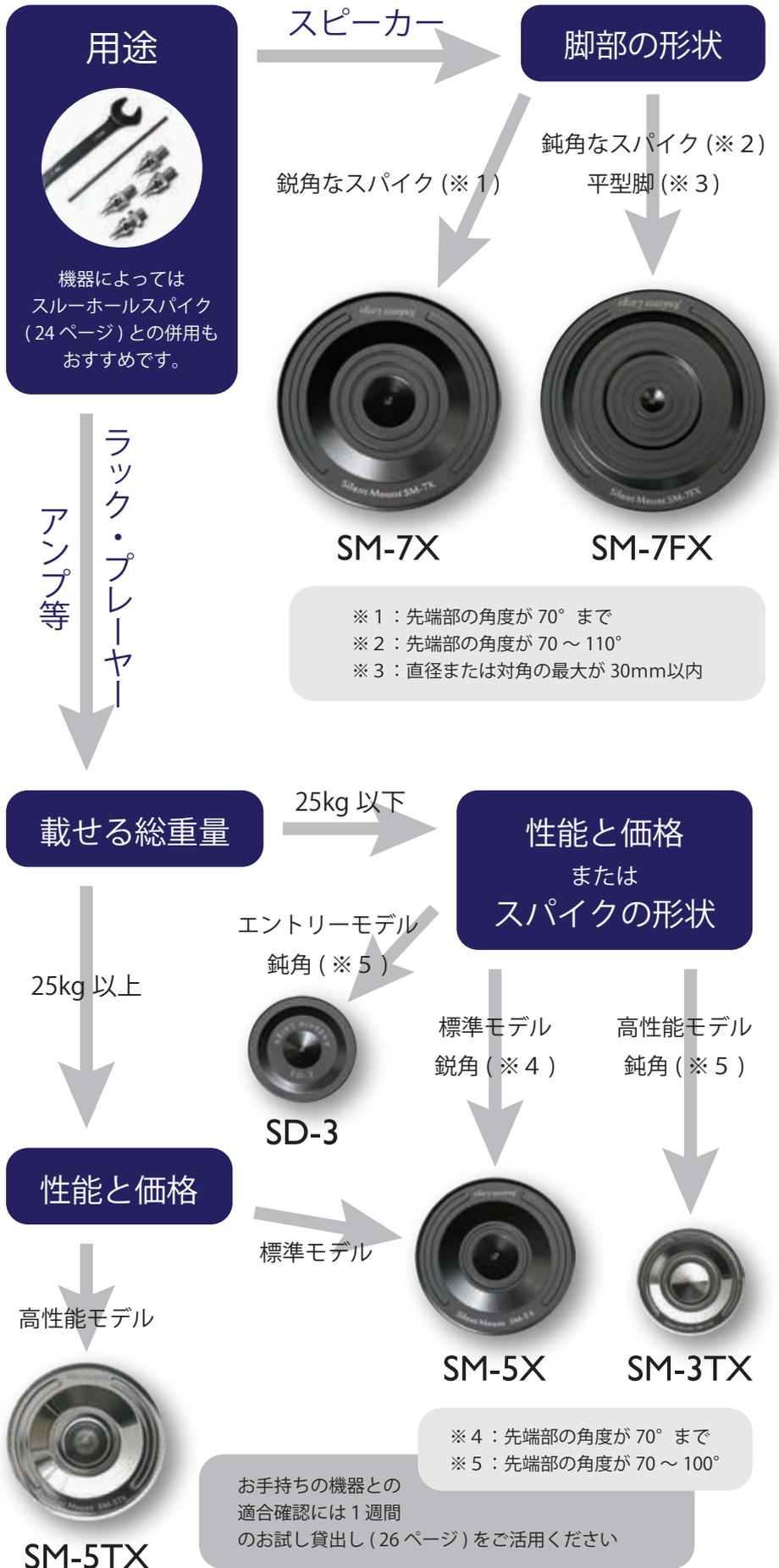
### ● ラインナップ

SD-3/B4 ¥16,500  
(ブラック/4個入)



# How To Use ?

スパイク受けの適切な使い分け



## 用途による設計の違い

振動の発生源となる「スピーカー側」と、それによる影響を少しでも抑えたい「ラック・アンプ・プレーヤー側」では、**スパイク受けに求められる設計も一部が真逆となります。**

### スピーカー用

→ 本体の重量や強大な振動をしっかりと支えるため、大型な設計

### ラック・プレーヤー・アンプ用

→ 安定して支えつつも、振動を受けにくい小型・軽量設計



## 付属品

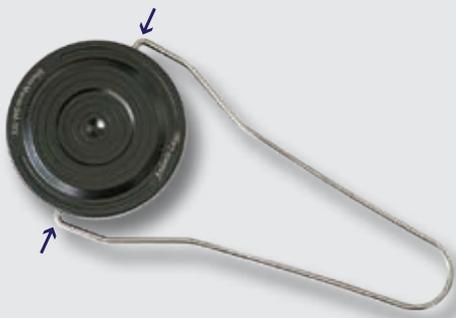
### ● フェルトシール (スパイク受け全種に付属)

ラック・プレーヤー・アンプ用にご使用いただく際、設置面がフローリングや石材、棚板等の比較的に硬いものであればフェルトシールを貼ってご使用ください。床面の保護ではなく、音質的なパフォーマンスに必須の付属品です。カーペット等、柔らかい設置面であれば貼り付けは不要です。スピーカーでのご使用いただく場合は床面を問わず、貼らずに設置してください。



### ● 取付補助工具 (SM-5X・SM-5TX・SM-7X・SM-7FX に付属)

スピーカーキャビネットや大きなアンプの底部等、手が入りにくい場所への設置に便利な専用取付工具です。製品の側面2箇所にある穴に嵌めて挟み、位置出しにご利用ください。



・ Grand Series + SM-5TX (使用例)



## 別売オプション・その他の製品

### ● SM-7X・SM-7FX 用 スペーサーセット ￥4,400

6枚1組 (0.25mm / 0.5mm / 1mm 厚が各2枚)

高さ調整機構の無い脚にSM-7XまたはSM-7FXをご使用いただく際、床面とサイレントマウント底面の間に挟んでガタを調整します。

### ● スルーホール スパイクシリーズ

TH Spike M8 / 1.25-4 (4本入り) の場合 ￥14,000

弊社のラック開発過程で誕生した専用の中空スパイクを、一般のラック・スピーカーでもご使用いただける規格にリメイクしました。サイレント/ソリッドマウントシリーズにもベストマッチの設計です。詳細は24ページをご覧ください。



・ Weefolk Board + SD-3 (使用例)





Title	Artist	History of ownership	Name

Title	Artist	History of ownership	Name

Title	Artist	History of ownership	Name

# AL SLEEVE

ALスリーブ

レコード内袋

## ラインナップ

### ● 12 インチレコード盤用

AL-300・・・¥74,800(300枚入※)

AL-100・・・¥27,500(100枚入※)

AL-25・・・¥7,700(25枚入)

### ● 10 インチレコード盤用(限定生産)

GL-300・・・¥74,800(300枚入)

GL-100・・・¥27,500(100枚入)

GL-25・・・¥7,700(25枚入)



※ AL300 と AL100 にはこちらの専用箱が1個付属



## レコードの保管に最適な内袋とは？

夏場の蒸し暑さ、冬場の結露、またクリーニング等で、レコードは常に湿気にさらされています。また、静電気対策も非常に大切です。現在、内袋の素材としてメジャーなもの、そしてそれらのメリット・デメリットは下記の通りです。

- ▲ ビニール製：安価 / 湿気が逃げにくい / 経年劣化(ビニール焼け) / 静電気が起きやすい
- ▲ 一般の紙製：湿気が逃げやすい / 硬さゆえに傷がつく / 紙の発する粉塵が付着する

また、洗浄したレコードを裸で乾燥させるとホコリが再付着します。かといってビニールや紙の内袋に入れると上記のような問題が直面するため、扱いに悩む場面も多々あります。



## グラシン紙&上質紙の2重構造

グラシン紙は柔軟性と通気性に優れた素材です。また紙の粉塵が非常に少ない、静電気を発生しにくい等のメリットがあり、内袋の素材として理想的な要素を多く持っています。その反面、強度が乏しい・高価等の理由であり普及することはありませんでした。

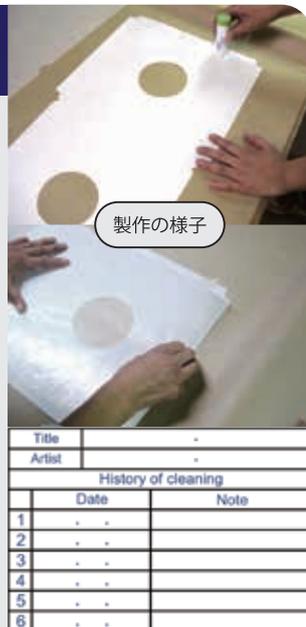
アンダンテラルゴは、この強度の問題を2重構造によって解決。内側にグラシン紙、外側に上質紙を使用することで、グラシン紙のメリットと耐久性を両立しており、安心して長くお使いいただけます。

また、レコードクリーニング後に(水滴をしっかりと拭き上げた上で)挿入すると、ホコリを防ぎつつ乾燥も可能です。大切なレコードを末永く愛用するために、おすすめいたします。

## その他の「こだわり」

- 接着剤：経年劣化の心配の少なさから絵画の補修にも使われる澱粉糊を使用し1枚1枚手作りで製作しています。
- 四隅の丸カット：アウタージャケットからの出し入れを容易にしつつ、双方の損傷を防ぎます。また下側のカット部分は澱粉糊を塗って塞いでおり、下部へのホコリの侵入を防ぎます。
- メモ欄：タイトルやクリーニング履歴が記入できるメモ欄を裏面に印刷。中身の入れ替わりを防げるほか、定期的にレコードのお手入れをされる方にも便利な仕様です。

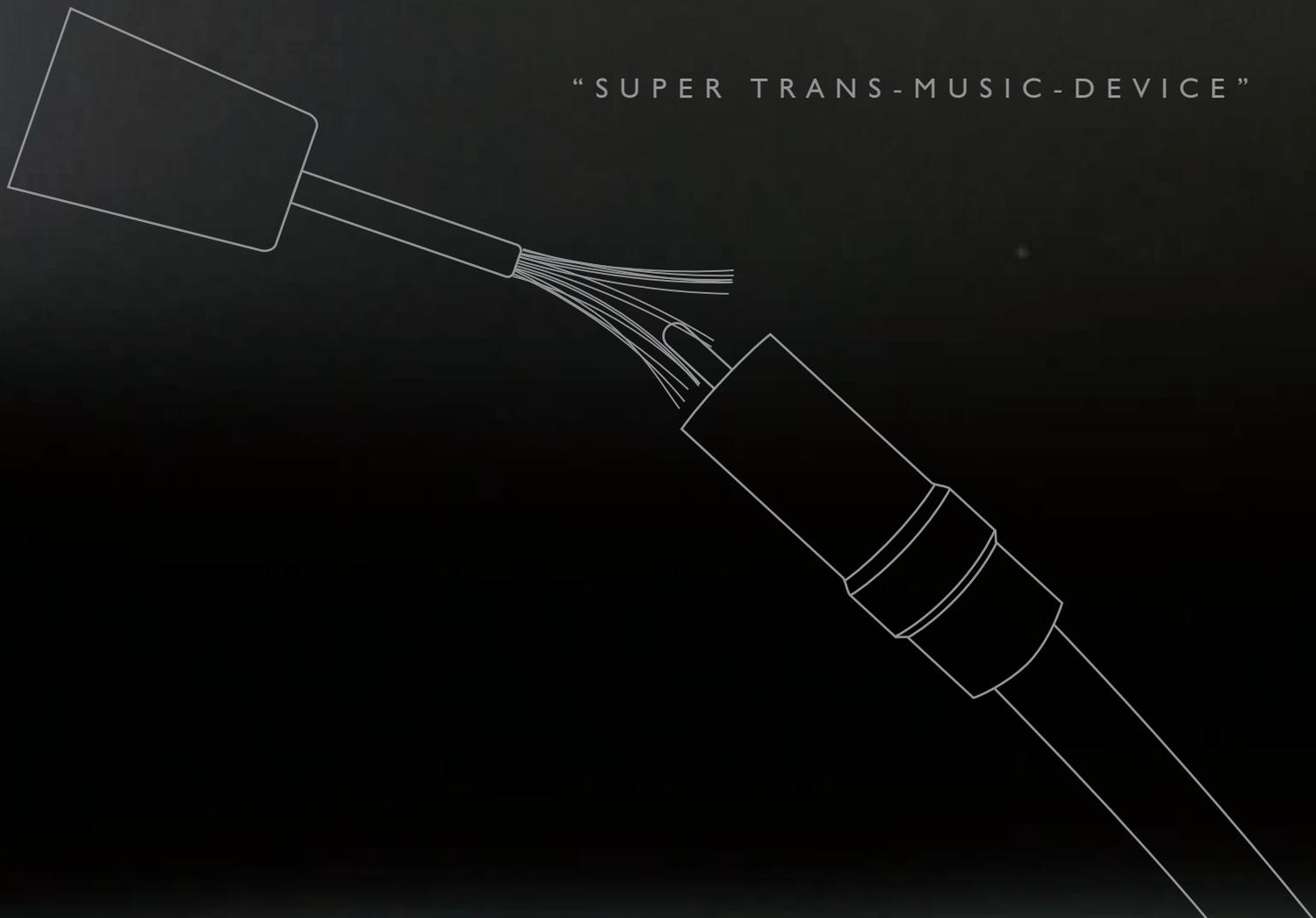
作りを簡略化して安価にすることは容易ですが、本シリーズの工夫には1つ1つ大きな意義があると考えております。手間とコストのかかる設計ではございますが、発表当時より一貫してこれを採用しています。



Title	-	
Artist	-	
History of cleaning		
	Date	Note
1	..	
2	..	
3	..	
4	..	
5	..	
6	..	



“SUPER TRANS-MUSIC-DEVICE”



SUPER-TMD

スーパー TMD

接点安定剤

## ラインナップ

- STMD (スーパー TMD) : 綿棒のサンプル等も付属するオールインワン  
STMD - 1.5 . . . . ¥ 6,800 (1.5ml)  
STMD - 3 . . . . ¥ 11,000 (3ml)  
STMD - 10 . . . . ¥ 27,500 (10ml)



- POL (ポリッシュ) : 汚れた端子の事前清掃に  
POL - 5 . . . . ¥ 2,750 (5ml)

## 詳細

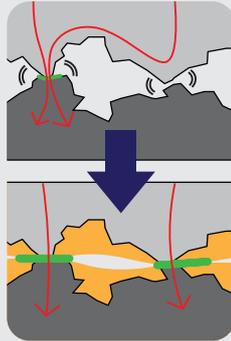
プラグの接点は、肉眼では美しく輝いて見えても、電子顕微鏡レベルの世界では非常に凸凹しています。それら同士を接続した場合、微細な接触不良が無数に発生することは、ご想像いただけるかと思えます。

これを更に悪化させるのは、音楽・映像再生時の振動です。接触不良の箇所が揺さぶられ、触れたり離れたりすることで信号の経路が目まぐるしく変わり、位相等々もバラバラになり、音楽・映像情報を著しく混濁させるのです。(右図上)

SuperTMD は、端子表面の微細な凹凸に浸透。接点の面積を広げつつ、地盤も強固にすることで「**確実な接点**」を増やし、情報を安定して伝送させます。(右図下)

また、SuperTMDの登場に際しては**新素材の投入も含め、配合を一新**。塗布に便利なハケも付属。従来品より**導電特性や持続性、作業性、そして音楽性が格段に向上**しています。

オーディオ・映像用機器の端子 (RCA/XLR/BNC/USB/LAN/カートリッジやアーム周辺/スピーカー/電源/真空管等々) に、幅広くお使いいただけます。



● 製品の成分  
— 導通箇所  
→ 信号の流れ  
(イメージ図)

## 使用法 (施工が簡単になりました)

- ホームページや取扱い説明書にて、より詳細な施工方法や注意事項をご紹介しております
- 実際のご使用前には取扱説明書に記載の注意事項も必ずお読みになり、正しくお使いください。

### ① 塗布

Super TMD を接点にのみ薄く塗布する。接点以外に付いたものは、綿棒等で拭き取ります。その後 10 分ほど置き、成分を浸透させます。

### ② 拭き上げ

10 分経過したら、綿棒等で優しく拭き上げて完了です。その後すぐにご使用いただけますが、効果が十分に発揮されるまで 2~3 日を要します。

### ● より効果的な「2度塗り」

2度塗りすると、一段と高い効果と持続性を発揮します。上記手順の完了後、1時間ほど置いて①・②を再施工します。

### ● 汚れが目立つ端子には

SuperTMD には端子磨きの成分も少量含まれているため、従来製品ではセットとなっていた「ポリッシュ」が別売 (型番: POL-5/5ml 入) となりました。上記①・②の前に、ポリッシュを少量浸した綿棒等で表面を軽く磨き、拭き取ります。

### ● 定期メンテナンス

効果を高水準に保つため、6 ヶ月毎の定期メンテナンス (工程は①・②) をお勧めします。



① 塗布

↓ 10分後



② 拭き上げ

2ステップ  
簡単施工

・ラインケーブルに



・入出力端子に



・デジタルに



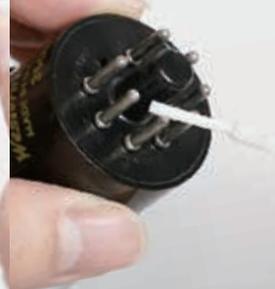
・レコードプレーヤーに



・スピーカーに



・真空管に



・電源に



写真は使用例です。他、様々な端子にお試しください。

SuperTMD 比較セット (未塗布 / 塗布済ケーブル) の1週間お貸出しも承ります。詳細は 26 ページにて。

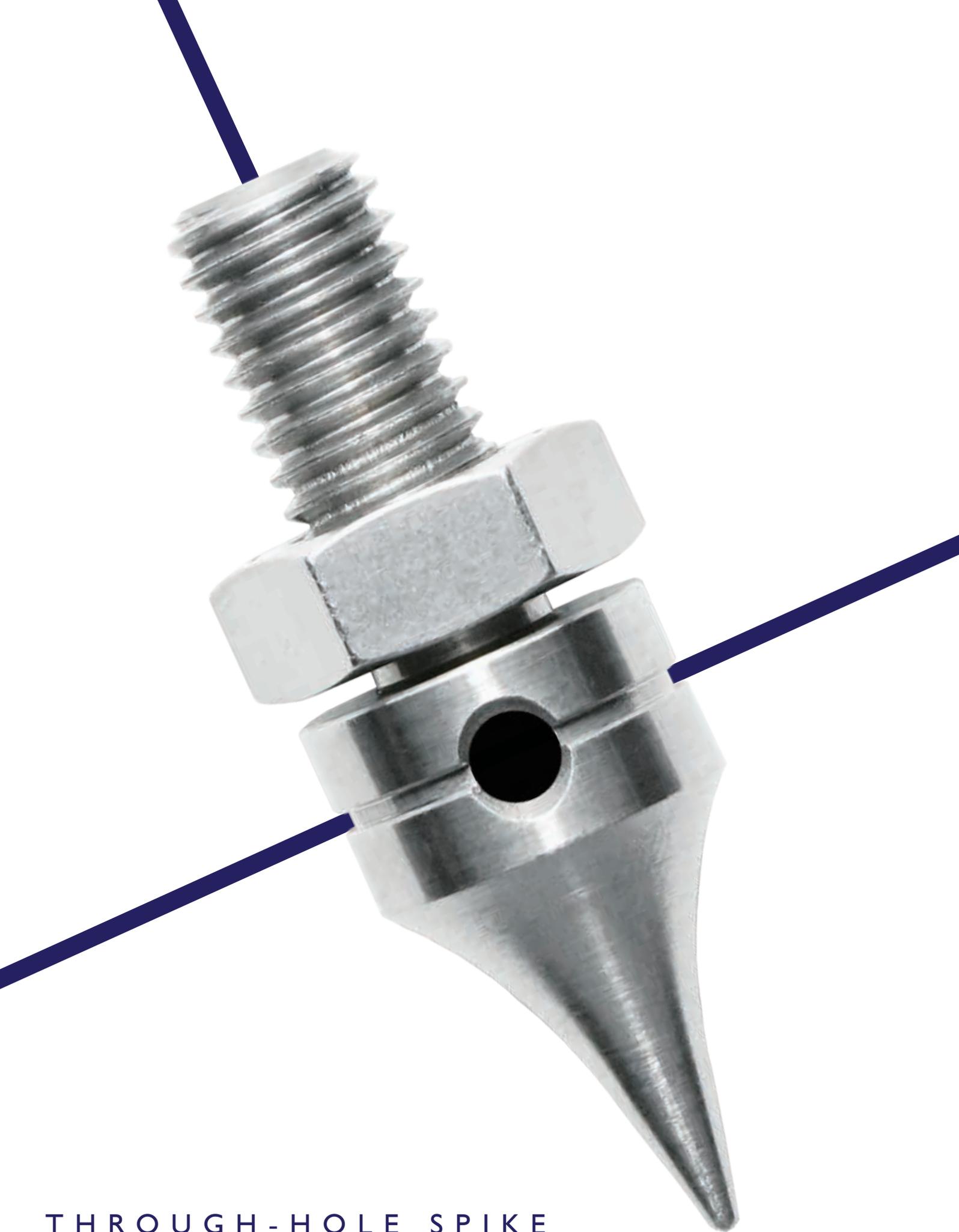


施工方法

Youtube にて  
動画公開中

弊社ホームページまたは  
←公式チャンネルにて





## THROUGH-HOLE SPIKE

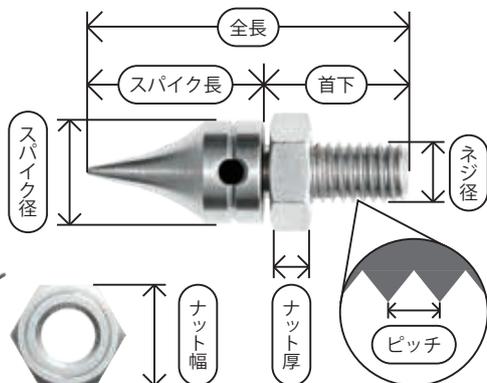
スルーホールスパイク

スパイク

## ラインナップ

- TS - M6      ¥ 12,000
- TS - M8      ¥ 14,000
- TS - M10     ¥ 16,000
- TS - M10 - Q   ¥ 16,000
- TS - M12     ¥ 18,000
- TS - M12 - J   ¥ 18,000

各 4 本入 / 専用工具付



(mm) (kg)

型番	ネジ径	ピッチ	全長	首下	スパイク長	スパイク径	ナット幅	ナット厚	耐荷重 (1本)
M6	6	1.0	40	19	21	11	11	5	50
M8	8	1.25	40	18	22	13	13	5	50
M10	10	1.25	44	22	22	15	17	6	80
M10 - Q	10	1.5	44	22	22	15	17	6	80
M12	12	1.25	44	22	22	16	19	6	80
M12 - J	12	1.25	29	13	16	16	19	6	80

● 適合確認セット (上記全種 × 各 1 本入) もお貸出ししております。詳細は 26 ページへ



・ TS-M8 と TS-M6



## 詳細

アンダンテラルゴのラック開発時は、スパイクにも様々なこだわりを詰め込みました。特に軸部を中空にする「スルーホール」構造は、理想的な振動コントロールを実現しています。素材には、試聴により厳選した特殊ステンレスを採用しました。

これらの特徴をそのままに、一般のラックやアンプ、スピーカー等にご使用いただける規格に再設計したものが、スルーホール スパイク シリーズです。

一般のスパイク機構によく見られる「手で回すだけ」の高さ調整機構では、スパイク自身の遊びや共鳴を抑えることはできないため、機器本体の安定した動作にも悪影響を与えてしまいます。スルーホール スパイクでは、調整後に六角ナットで固定し、機器底面としっかり一体化。「スルーホール」による振動制御と相まって、機器本来の実力を引き出します。

ガタのない精密な高さ調整を可能にする専用工具も付属。お手持ちのシステムのグレードアップに、ぜひご検討ください。1 週間のお試し貸出し (26 ページ参照) も承っております。



・ TS-M10-Q (使用例)

## 調整方法

● 詳細な取付・調整方法は取り扱い説明書にてご紹介しております

- ① 付属のスパナで六角ナットを緩める
- ② 側面の穴に棒を通し、回しながら高さを調整する。スパイク受けを使用している場合は、スパイク受けを回す重さが左右で同じかを参考に調整すると、比較的容易にセットできます (右写真)
- ③ 棒を持って共回りを防ぎつつ、六角ナットを締めて完了です。



・ 棒が共回りを防ぎつつ、繊細な高さ調整を実現



## ONE WEEK TRIAL

1週間のデモ機お試し貸出しについて

## 詳細

弊社の製品を、まずは1度お試しになってみませんか？ご自宅で、ぜひゆっくりお確かめください。また製品の性質によっては、現在お持ちの機器とサイズ等が適合するか、確認が必要なケースもございます。**アンダンテラルゴでは、お客様へ直接、そして無料にて製品（デモ機）を1週間お貸出ししております。**

ご利用規約やデモ機のラインナップをご確認の上、お気軽にお申し込みください。（弊社は輸入・製造元のため、販売は取引先販売店様に一任しております。直接販売や電話・メール等による勧誘は一切ございませんので、お気軽にお申し込みください。）

## ご利用規約

- ・お貸出し期間は原則、**1週間**です。実際のお貸出し製品にもご返送日（お客様より弊社宛にご発送いただく期日）を記載したメモを同梱しておりますので、ご確認ください。
- ・お貸出し点数は、**1度に3点（3セット）まで**とさせていただきます。
- ・送料は双方元払い（お貸出し時は弊社負担、ご返却時はお客様負担）となります。
- ・弊社からの発送は土日・祝日を除いた平日のみとなります。
- ・製品の仕様・価格は予告なく変更する場合がございます。そのためデモ機と後日ご購入時の製品の仕様・価格は異なる場合がございます。
- ・万一製品の紛失、破損があった際は実費を請求させていただく場合がございます。
- ・リストにない製品のお貸出しを希望される場合は、事前にお電話にてご相談下さい。

## ラインナップ（1回につき3点まで）

- ・ Grand Tower 683 (※) ・ Rigid Tower 683 (※) ・ Weefolk Board 各種 (※)
- ・ Silent Mount / Solid Mount 各種 ・ Through Hole Spike 各種 （※ 棚板は「KT」形状）
- ・ SuperTMD 比較セット ・ その他、コードカンパニー製品（弊社輸入製品）等

## お申し込み方法 A (推奨)

弊社ホームページにお申し込みフォームをご用意しております。**お貸出し機器の一覧も、フォームからご覧いただけます。**

右のQRコードを読み込んでいただくか、アンダンテラルゴ公式ホームページ内の「One Week Trial（1週間お試し貸出し）」ページをご参照ください。



## お申し込み方法 B (ネット以外でのお申し込み)

FAX・お手紙でのお申し込みも承っております。（電話でのお申し込みは、ご住所やお貸出し内容等のすれ違いを防ぐため、ご遠慮ください。）

上記のご利用規約を確認の上、「氏名・送り先のご住所・日中ご連絡の取れる電話番号・ご希望の製品（3点まで）」を必ずご明記いただき、下記の番号・宛先へお申し込みください。

FAX : 042-394-7155

住所 : 〒189-0013 東京都 東村山市 栄町 2-31-16-201 アンダンテラルゴ株式会社

○お貸出し内容の確認のため、弊社担当よりお電話させていただく場合がございます。

○その他ご不明な点は**0120-77-3412（月～土 / 10時～18時）**へお気軽にご相談ください。

・ GT683 (使用例)



・ SM-7X (使用例)



・ TS-M8 (一式)





## Example of How To Use

ユーザー様ご使用例

設置例 および ユーザー様ご使用例



GB540 & SM-3TX



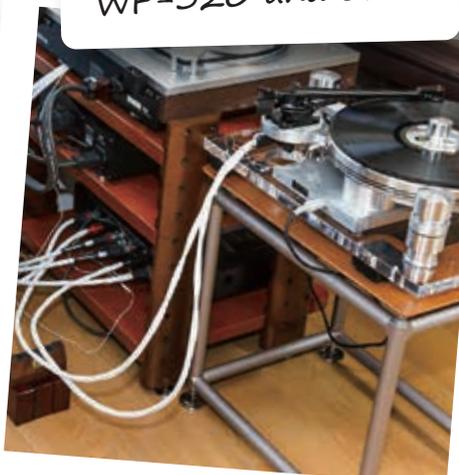
GB540 & SM-3TX



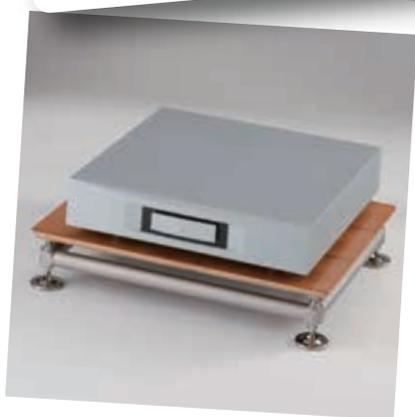
ALT600, SM-5X,  
WF-320 and SD-3



GT683 & SM-5TX



ALT12 & SM-5X



ALB12 & SM-5X



RT683,GT503,GS541,GS491  
WF320, ALB12 and S.M.



SM-7X



ALB12 & SM-5X



ALB600/2  
(GARRAD 401 Board)



GT683



RT684  
(EMT930 Board)



Through Hole Spike



GT683



RT503



RT503



GT744 & SM-5TX



SM-7FX



How to Replace



WF-470 & SD-3



GT744 & SM-5TX



WF-470 & SD-3



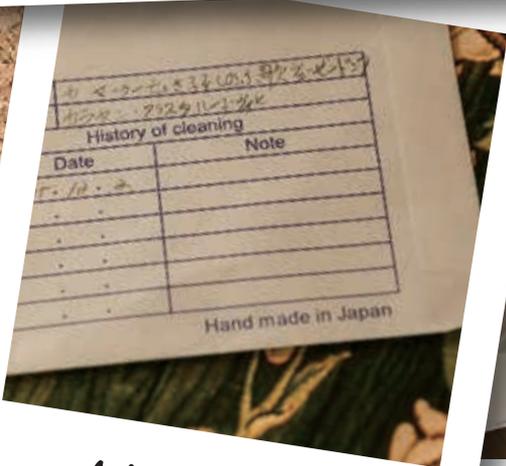
ALB520 & SM-5TX



ALB12 & SM-5TX



GT744 & SM-5TX



AL Sleeve



AL Sleeve



TS-M8 & SM-5X



RT684 & SM-5TX



GB540 & SM-3TX



RT684  
& SM-5TX



GT744 , RT684  
and SM-5TX



SM-7FX



SM-7FX



RT865  
& ALB12/2



RT865, ALT600,  
ALB12, and SM-5TX



SM-7X



RT503  
& SM-5TX



ALT600, SM-5TX,  
ALB12 and SM-3TX



SuperTMD



SuperTMD



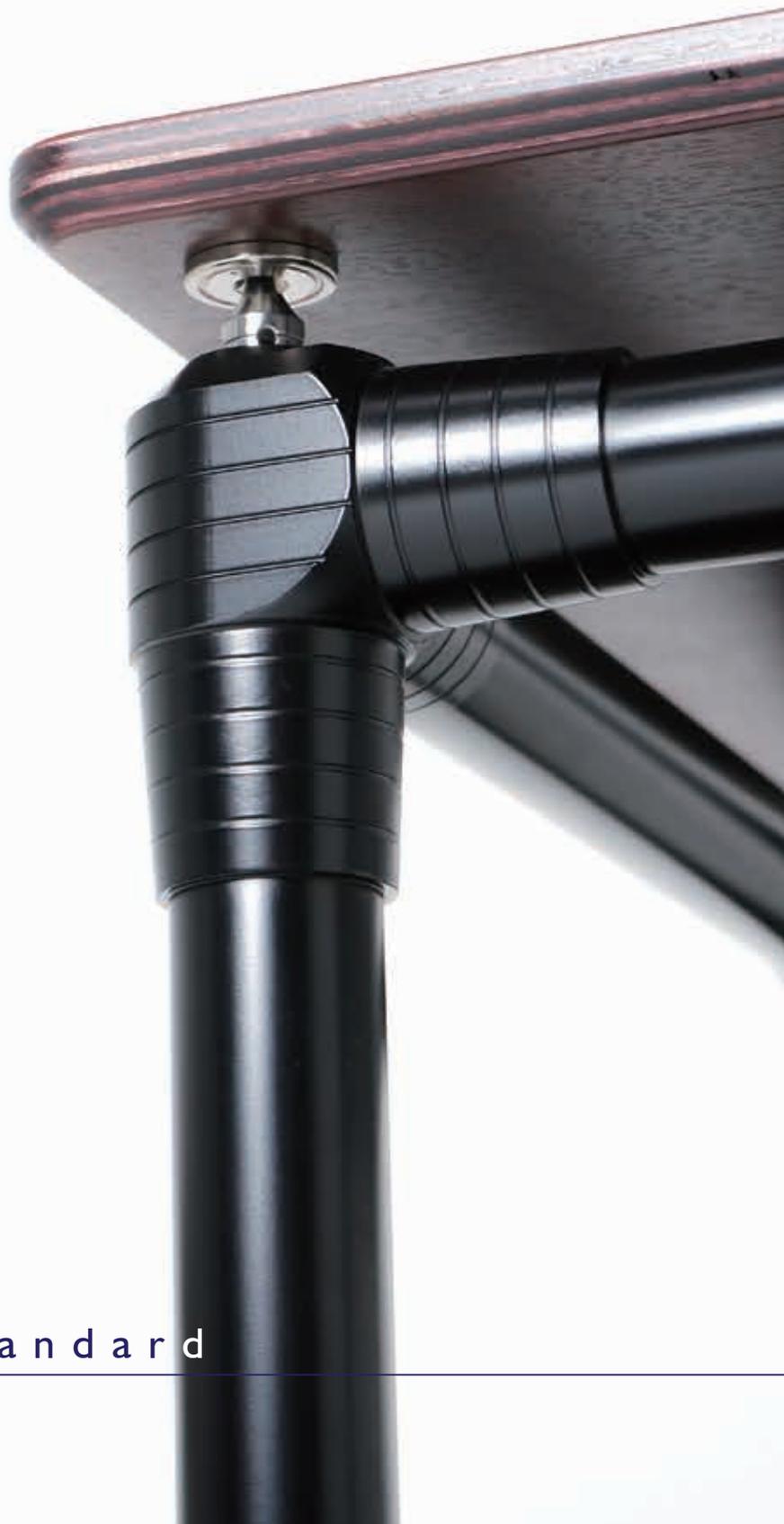
SuperTMD



SM-7X



RT683 & SM-5TX



## Andante Largo Standard

アンダンテラルゴの3つの音質評価スケール

## なぜ、そのようなスケールを設けるのか？

アンダンテラルゴでは大きく分けて3つの音質評価スケールを自社製品の開発、輸入製品の評価、システムのセッティング等に一貫して採用しています。

メーカーとして「良い音」を提供するにはまず、どういった状態が「良い音」なのか？という明確な基準を定める必要があります。そして（漠然とした「感覚」ではなく）その基準をもって設計・選定した製品のみをラインナップしてこそ、安心して弊社取り扱い製品をお選びいただけておられます。

下記3つのメソッドは弊社内だけのものではありません。皆様が機器の試聴をされる時はもとより、ご自身のシステムのセッティングやグレードアップの基準としてもご利用いただければ幸いです。

### ①「楽器と楽器」のセパレーション

システムをセッティングするにあたり、楽器の前後・左右の位置や存在の明確さをリアリティとして追求する人は少なくありません。しかし弊社の考えとしては、それはあまり問題ではないのです。

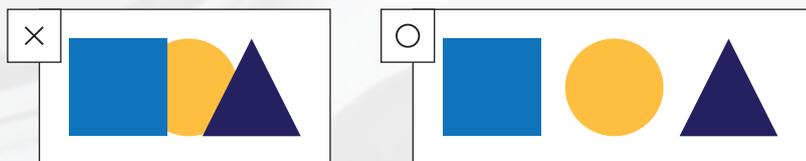
これには反論される方もいらっしゃると思いますが、例えばアコースティックギターでも、自然な環境の中で弾いてもらい目をつむると、どこで演奏しているのか、サウンドホールがどこにあるのか、意外と分からなくなるものです。ピアノも同様で、良いコンサートホールではピアノ自体から音が聴こえるというよりも、その部屋の空気全体に音が満ち満ちているのです。そこには美しい音色と豊かな響き（倍音）が聴こえています。要するに本来の「自然な音」は楽器の位置がはっきりとしないことが多いのです。

ところがひとたび、システムから音楽を鳴らすと「あの人はここで歌っている」とか「Aの楽器はあそこで、Bの楽器はここにいる」とよく言われます。私共にとってそのような音の出方は、十分な倍音がまだ出ていない状態だと考えます。本当の音に近くなればなるほど、「ここ」や「あそこ」が重要ではなくなる。むしろその方が本来の姿に近い、「自然な音」であると考えています。

もちろん精度が上がると指で指せる、場所がわかるということは、決して間違いではありません。ただ問題なのは、そのことばかりを追求していくと、とても不自然な音に陥ってしまうことなのです。

そこで私どもが重要視していることの一つは、楽器間のセパレーションです。例えば一般的なオーディオで3重奏の曲を聴いてみますと、それぞれの楽器の音が折り重なって聴こえることがあります。また小音量の伴奏が、大音量の主旋律にかき消されている、というケースもよくあります。絵画で言えば、壁に掛った複数の絵がお互いに被さって見える状態で、非常に不自然です。絵画の世界ではそうないことですが、これが音楽再生の世界ではよく発生しているのです。

ジャズトリオのピアノ・ドラムス・ベースも、全てがまとまって聴こえるのではなく、ピアノはピアノで独立して聴こえ、ドラムはドラムで手に取るように聴こえ、ベースはベースではっきり旋律を奏でてこそトリオの演奏になります。それでこそ彼らが異なる3つの楽器と旋律を受け持つ意味があるのです。



ビッグバンドの演奏でも、ブラスが大音量で鳴る中に1本のアコースティックギターがいるならば、例え小さな音であっても、はっきりと聴こえてほしいのです。作曲家は最も目立ちにくいパートにも、そのささやかな旋律が必要だからスコアに書いています。ですから、音量の大小にかかわらず、楽器同士の音は「被らず」明瞭に再生されることが重要なのです。

### ②「一音一音」のセパレーション

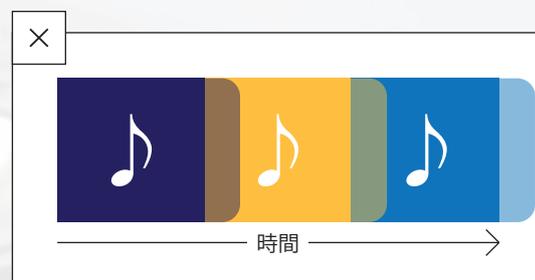
もうひとつ大事なセパレーションは、楽器の一音一音がその前後の音とは別々に、はっきりと聴こえることです。例えば、スラー記号でもない限りは「ド・レ・ミ」という様に聴こえるのが理想です。ところがちょっとでも再生音に歪みが増えると、一気に「ド〜レ〜ミ」と繋がってしまいます。このセパレーションも、私どもは非常に大切であると考えています。

優れたクラシックギターの演奏では、1つの音を出した後、しっかりと指でグリッップして音を止めてから次の音を出しています。「ドレミ」ではなく、「ド・レ・ミ」という具合です。テンポが早くても遅くても「ド・レ・ミ」と弾いています。それによって本当に一音一音がとても（次ページへ→）

きれいに響くのです。(それを完璧に実践した巨匠が、アンドレス・セゴビアです。ゆったりとした曲でも、超絶技巧の速い演奏でも、一音一音をはっきりと奏でています。グレン・グールドも一音一音を切って、むしろ強調し過ぎな程に弾いています。だからこそ、彼らの演奏は非常に速いフレーズでも一音一音が明瞭に、美しく聴こえるのです。)

オーディオの場合も全く同じだと考えています。例えばグラつかないようにしっかりとセッティングされたスピーカーから、素晴らしい音楽が奏でられていたとします。そこであえて僅かなグラつきをスピーカーと床との間に与えると、それだけでもう音が混ざり合い、繋がり合い、到底美しい音とは言えない状態になります。

前後の一音一音も混ぜることなく明瞭に再生すること・・・これは優れた演奏家の技術・情熱を忠実 (=Hi-Fidelity) に再生するために欠かせないポイントなのです。



### ③「高い音と低い音」のセパレーション

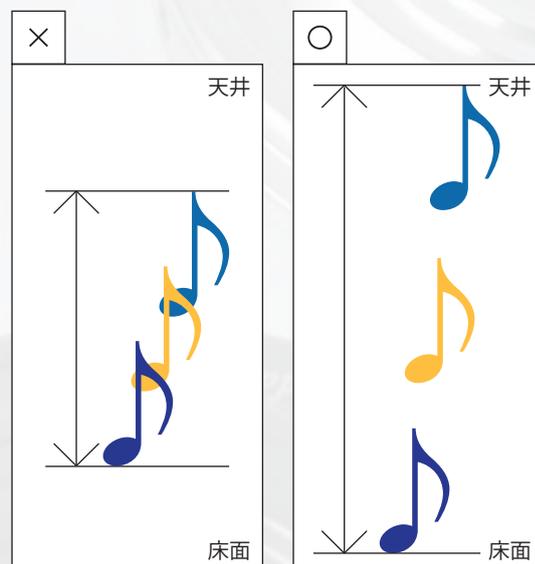
次は、「高い音と低い音」のセパレーションです。「高い音」や「低い音」という言葉はいつごろから使われ始めたのでしょうか？英語でも高い音を High note または High frequency と呼んでいます。きっと古来より使われてきた言葉だと思いますが、言語の違いに関係なく自然と高い音は上の方から聴こえるように感じ、そのままに表現してきたのでしょうか。これは私達ヒトが生まれながらに持っている、素晴らしい感覚です。ですから自然に近い音は、高い音が上の方から聴こえ、低い音は地を這うように下の方から聴こえるのです。

同様に、優れたシステムでは「高い音」はスピーカーより遥かに高いところから、「低い音」はずっと低いところから聴こえてきます。逆に、少しでも歪みのあるシステムでは「高い音」も「低い音」もみなスピーカーの辺りからしか聴こえなくなります。

また高音、低音が中音域に寄った「団子状態」は、受け取り方によってはパワフルに聴こえることで「良し」される事もあります。しかし上記の考えに当てはめてみれば、本来の音楽の姿であるとは言えないと思うのです。

ご参考にお聴きいただきたい曲は、パガニーニの「24の奇想曲5番」です。ヴァイオリンの旋律が低い弦から徐々に上がり、もっと上がり、またもっと上に……という美しいフレーズがあり、音階の上がり下りの感覚がとてもよくご理解いただけると思います。

高い音はより高い所から、低い音は地を這うように低いところから響く・・・それこそ、音楽で最も大切な要素の1つである「コントラスト」の美しさを存分に享受できるのです。



### メソッドに耳を集中させ、僅かな音の違いを判断する

「本当はセッティングのことは詳しくわからない、それでも良い音・良い音楽が大好きだ」という方は沢山いらっしゃいます。そうでなくとも、趣味の色々はそもそも自分の感性で選ぶもの、他人にとやかく言われたくないものです。

しかしこれがメーカーとなりますと、漠然とした感覚だけで決める訳にはいきません。

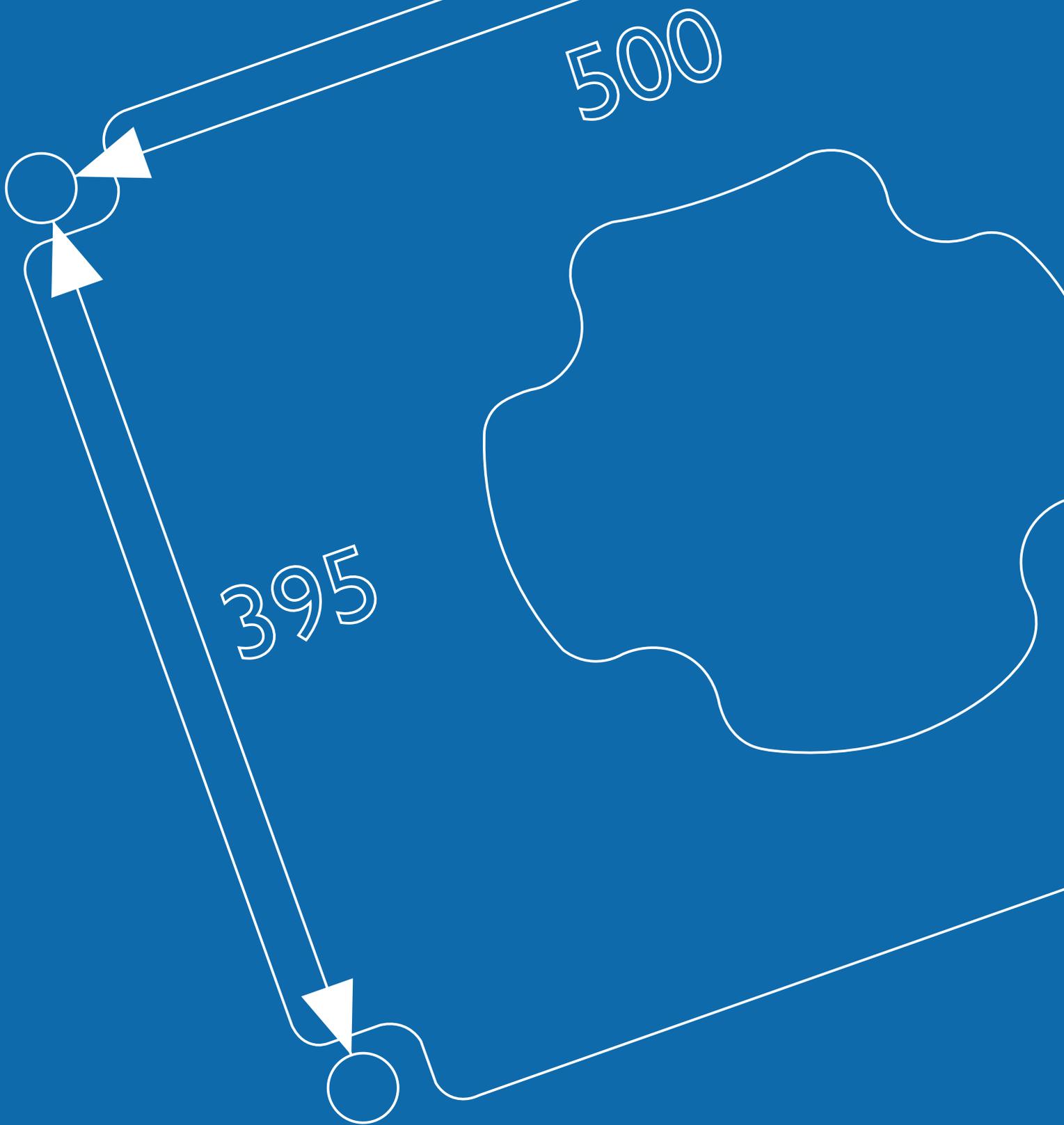
私共は製品開発に際して、多くの選択肢の中から最善のものを選定します。例えば素材5種類を比較して良いものを選ぶ時、事前に分かる特性等ではなく、先入観の入らないブラインド試聴のみを唯一の方法としております。実際の製品を例にとりますと、スパイク受け「サイレントマウント」の設計においては、非常に複雑な組み合わせで数10通りの試作品を作り、ベストを試聴から選びました。またラック類の天板のくり抜き形状、材質・接着剤の選択においても、30種類以上の試作品をテストしました。特にくりぬき形状に至っては、最終的に1mmステップで追い込んだものもあります。

このようなことを第三者の方にお話しすると、「そんな微妙な差がわかるのか？」と言われます。実際のところ、数値上では僅かな違いしか無いと思われる比較もあります。しかし上記の3つのポイントに集中して聴き比べると、ごくわずかな差でも非常に大きくクローズアップされて良否の判断が出来るのです。

ぜひ1度、お試しください。

アンダンテラルゴ 株式会社





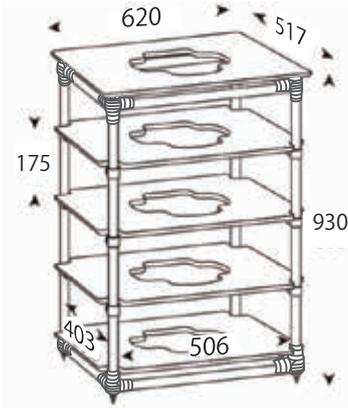
## Dimensions & Options

寸法表 および 各種オプション

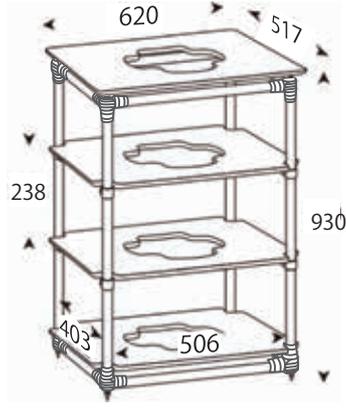
(製造上、記載の数値から多少の誤差が発生する場合がございます)

# Grand Tower (グランタワー / 製品詳細は4ページにて)

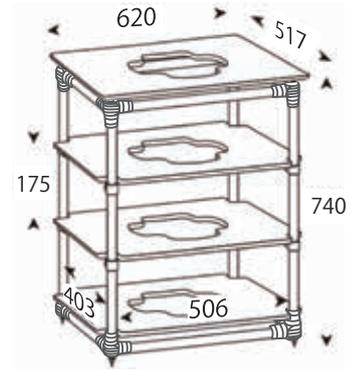
- ラック全体での耐荷重：250kg
- 1段あたりの耐荷重  
→4点脚の機器は50kg(特厚板使用時80kg)  
→3点脚の機器・複数台は40kg( " 70kg)
- 特厚板については44ページへ



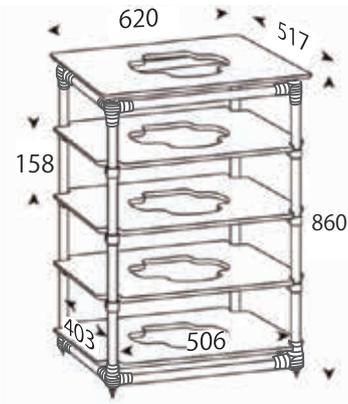
GT935



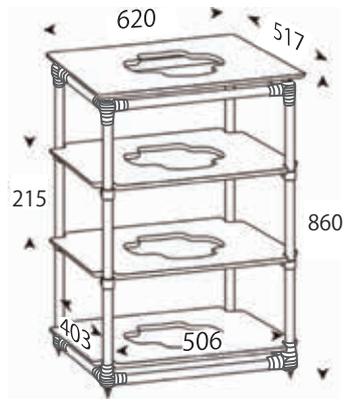
GT934



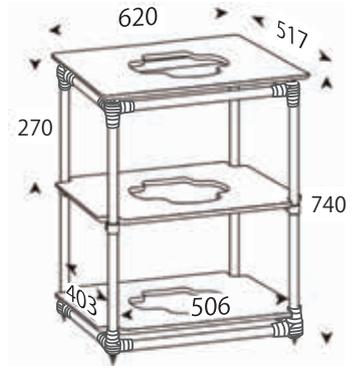
GT744



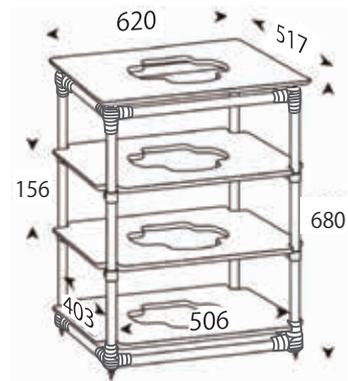
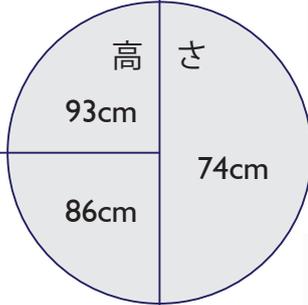
GT865



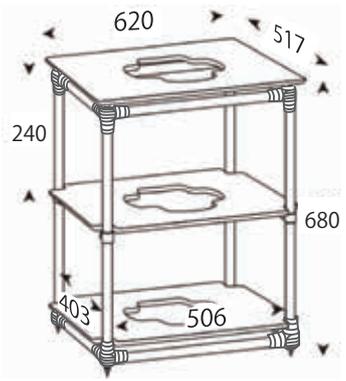
GT864



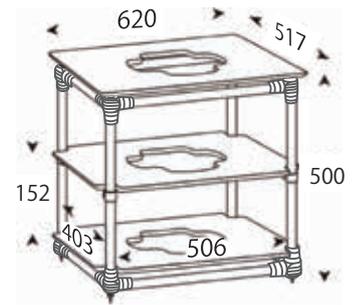
GT743



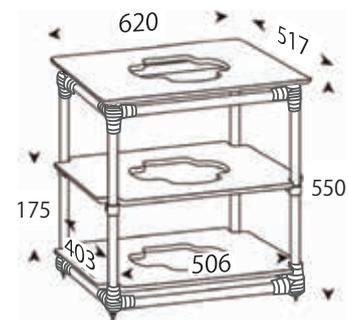
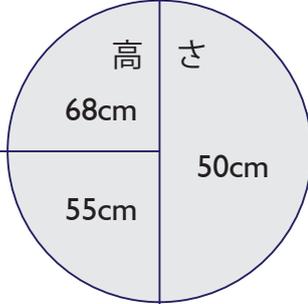
GT684



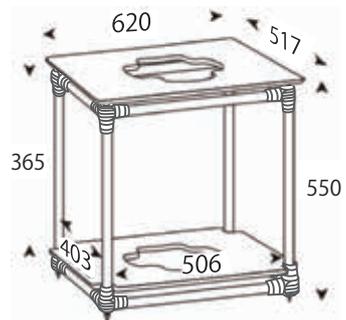
GT683



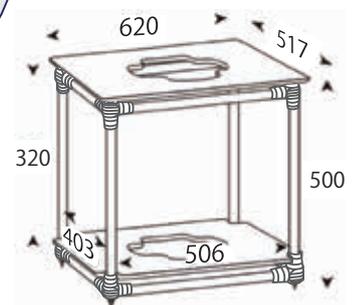
GT503



GT553



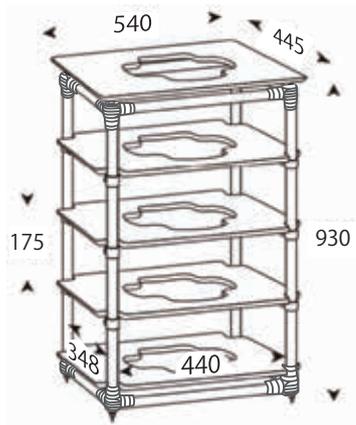
GT552



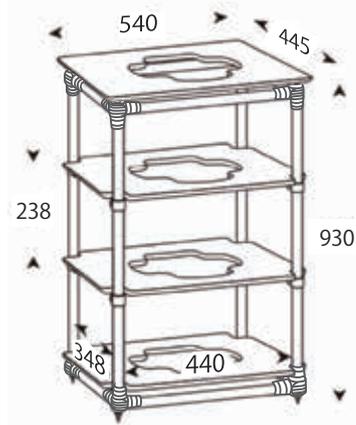
GT502

# Grand Tower Mid (グランタワーミッド / 製品詳細は4ページ)

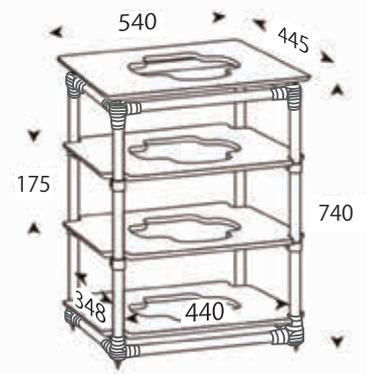
- ラック全体での耐荷重：250kg
- 1段あたりの耐荷重  
→4点脚の機器は50kg (特厚板 使用時 80kg)  
→3点脚の機器・複数台は40kg ( " 70kg)
- 特厚板については44ページへ



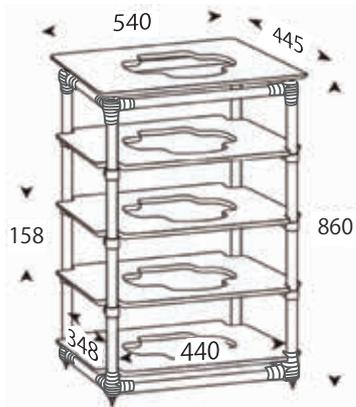
GT935 Mid



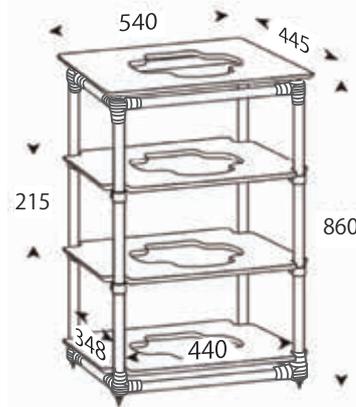
GT934 Mid



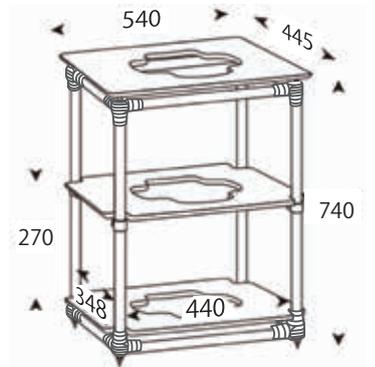
GT744 Mid



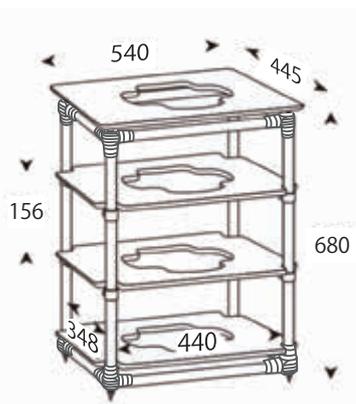
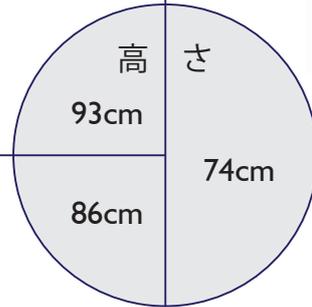
GT865 Mid



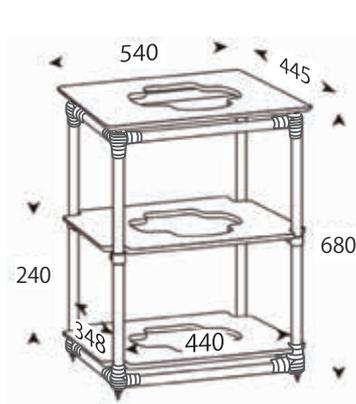
GT864 Mid



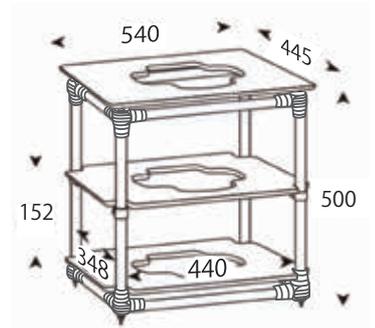
GT743 Mid



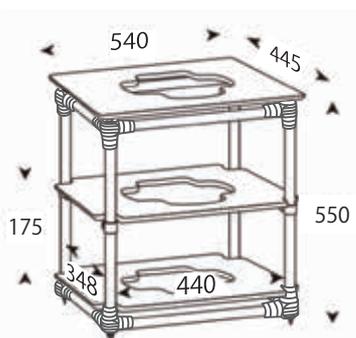
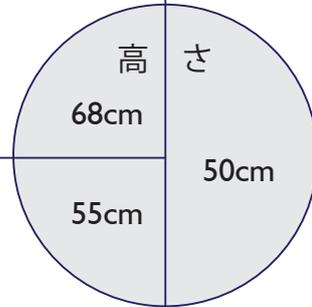
GT684 Mid



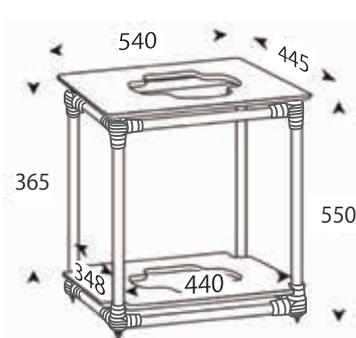
GT683 Mid



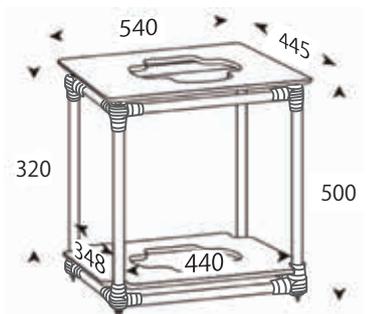
GT503 Mid



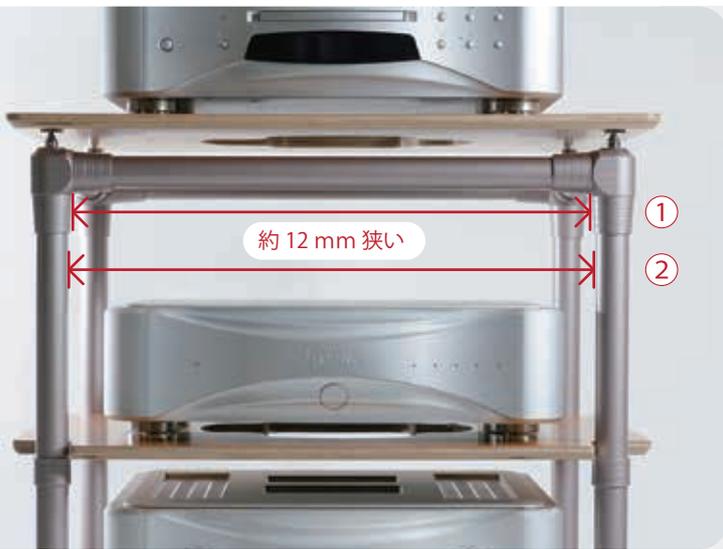
GT553 Mid



GT552 Mid



GT502 Mid



## ご注意 (グランタワー/グランソロ)

ジョイントの形状により、上から2段目の間口は一部が狭くなっておりますのでご注意ください。

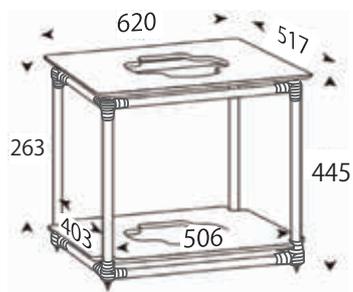
- ・左右方向は上部①が他の部分②より-12mm
- ・上下方向は左右両端③が他の部分④より-6mm

「寸法表」におきましては、他の段と共通となる②と④の数値を記載しております。左右と奥の間口につきましても、上記と同様となっております。

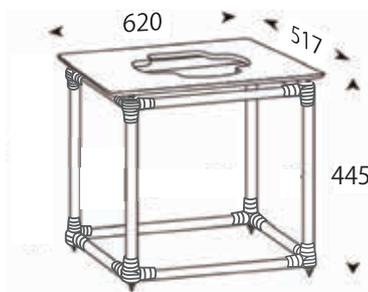
また、特厚板(+3mm厚/44ページ参照)の使用でも上下方向が多少狭くなりますのでご注意ください。



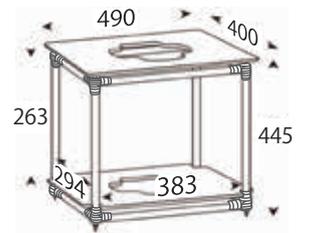
## Grand Solo (グランソロ/製品詳細は4ページ)



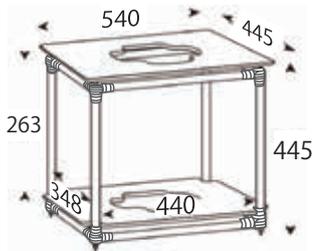
GS622



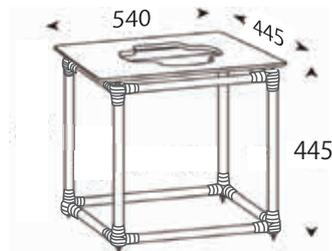
GS621



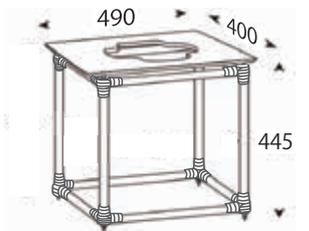
GS492



GS542



GS541



GS491

高さ  
445mm

2段モデルの下段は上部が  
少し狭くなっております

詳細は上記  
「ご注意」にて

- ラック全体での耐荷重：160kg

- 1段あたりの耐荷重

→4点脚の機器は50kg(特厚板使用時80kg)

→3点脚の機器・複数台は40kg( // 70kg)

- 特厚板については44ページへ

## Grand Base (グランベース/製品詳細は4ページ)

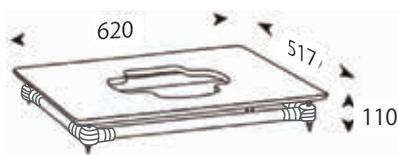
- 耐荷重

→4点脚の機器は50kg(特厚板使用時80kg)

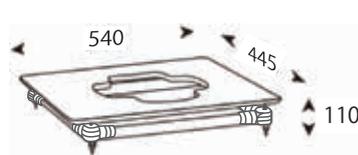
→3点脚の機器・複数台は40kg( // 70kg)

- 特厚板については44ページへ

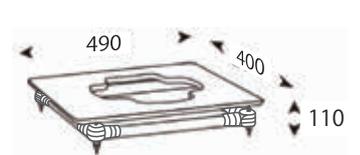
高さ  
110mm



GB620



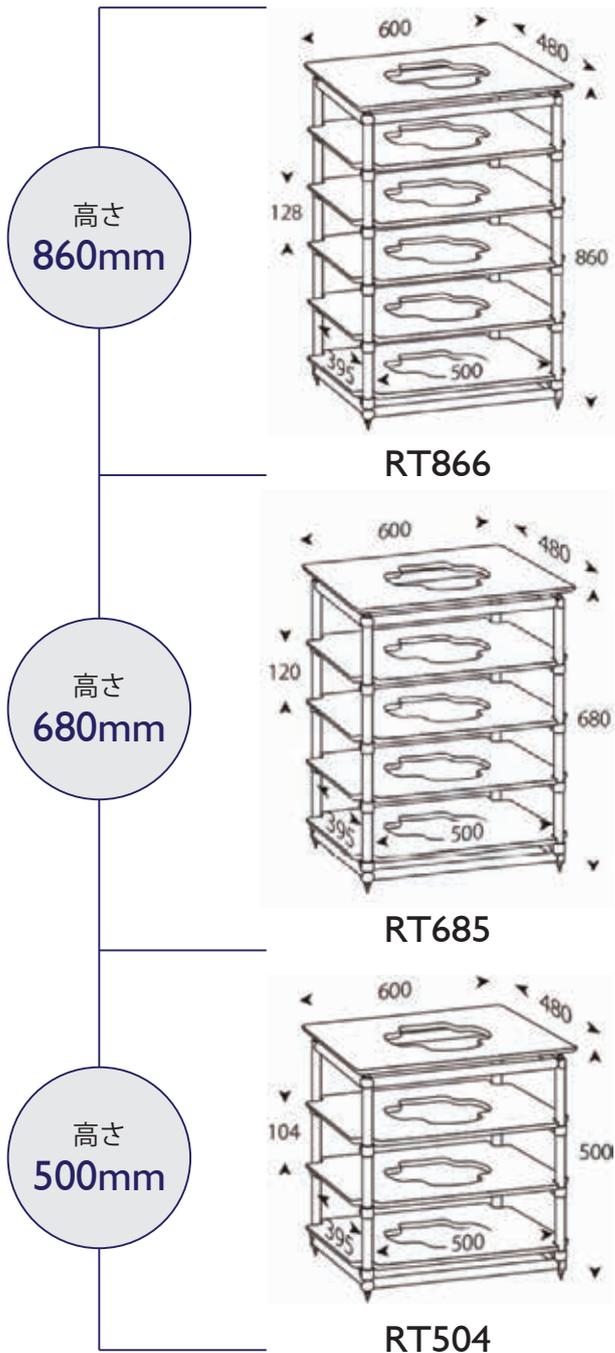
GB540



GB490

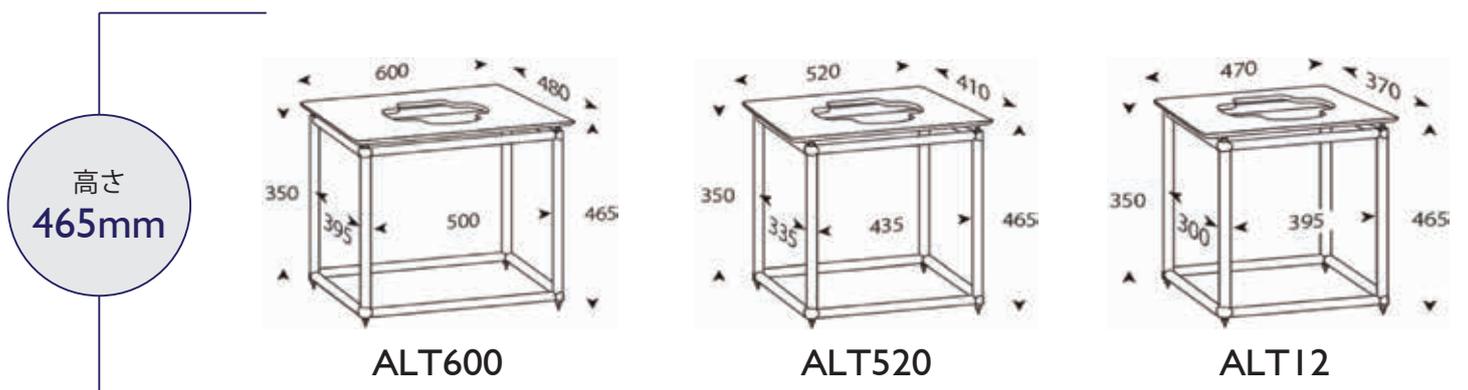
## Rigid Tower (リジッドタワー / 製品詳細は8ページ)

- ラック全体での耐荷重：250kg
- 1段あたりの耐荷重  
→4点脚の機器は50kg(特厚板使用時80kg)  
→3点脚の機器・複数台は40kg( // 70kg)
- 特厚板については44ページへ



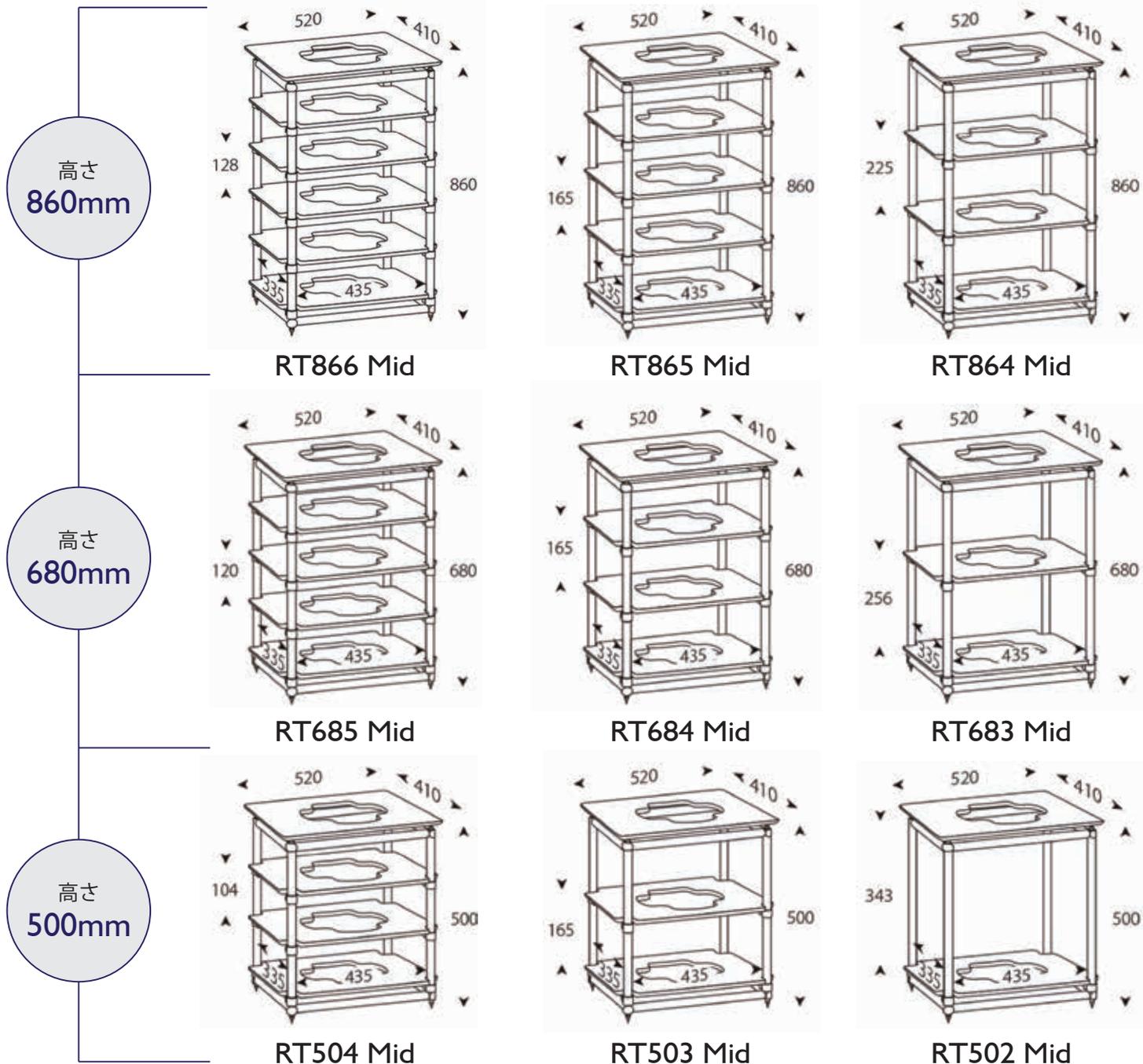
## Rigid Table (リジッドテーブル / 製品詳細は8ページ)

- 耐荷重  
→4点脚の機器は50kg(特厚板使用時80kg)  
→3点脚の機器・複数台は40kg( // 70kg)
- 特厚板については44ページへ



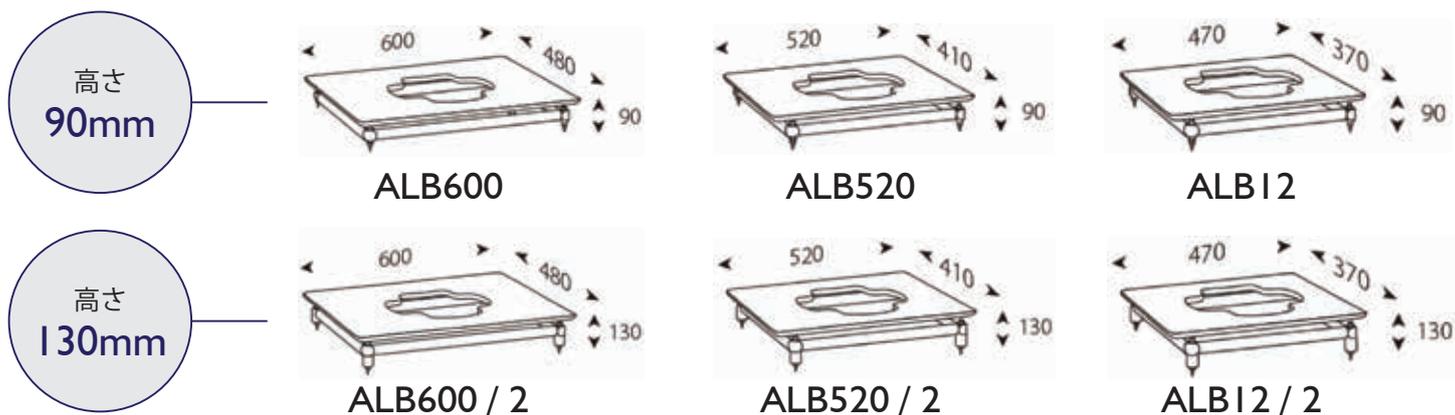
## Rigid Tower Mid (リジッドタワーミッド/製品詳細は8ページ)

- ラック全体での耐荷重：250kg
- 1段あたりの耐荷重  
→4点脚の機器は50kg(特厚板使用時80kg)  
→3点脚の機器・複数台は40kg( // 70kg)
- 特厚板については44ページへ



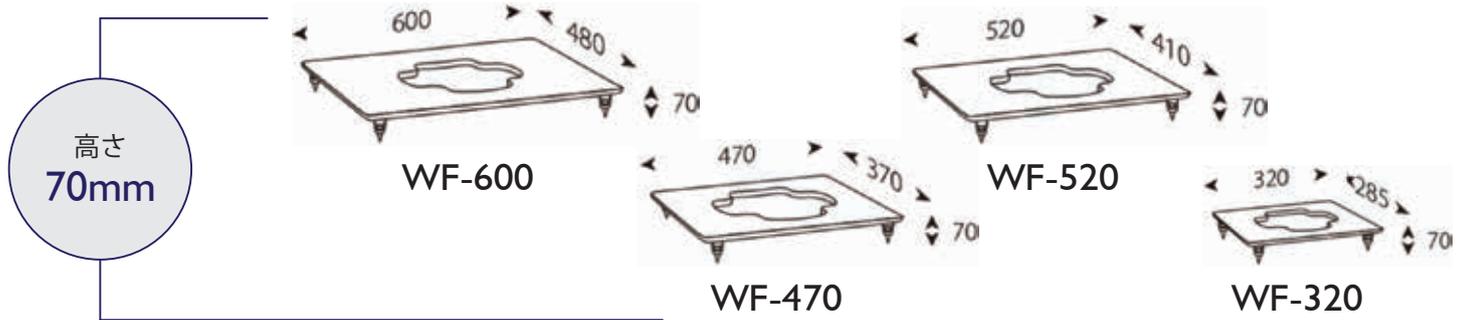
## Rigid Base (リジッドベース/製品詳細は8ページ)

- 耐荷重  
→4点脚の機器は50kg(特厚板使用時80kg)  
→3点脚の機器・複数台は40kg( // 70kg)
- 特厚板については44ページへ



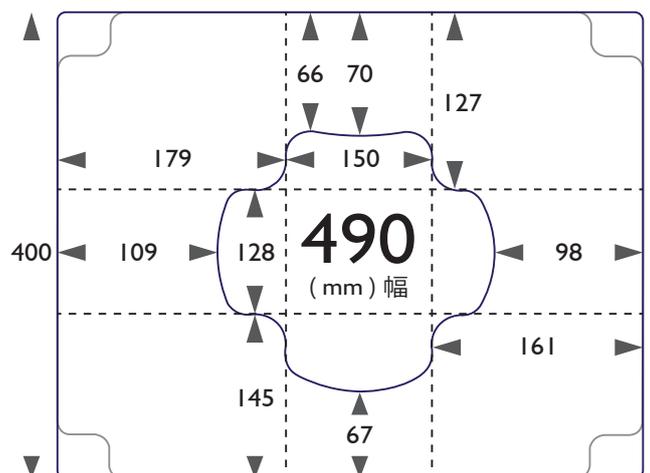
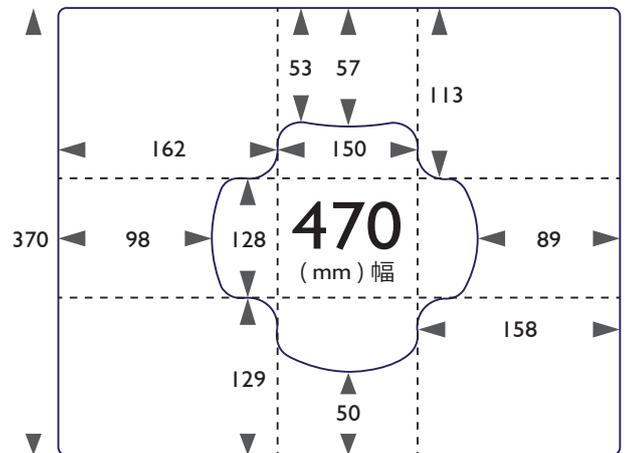
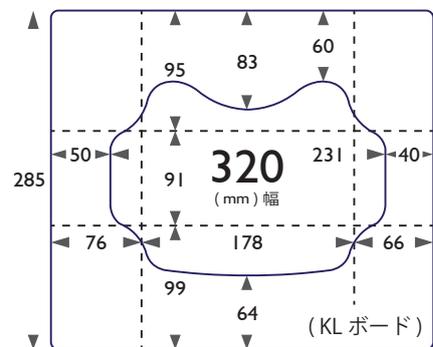
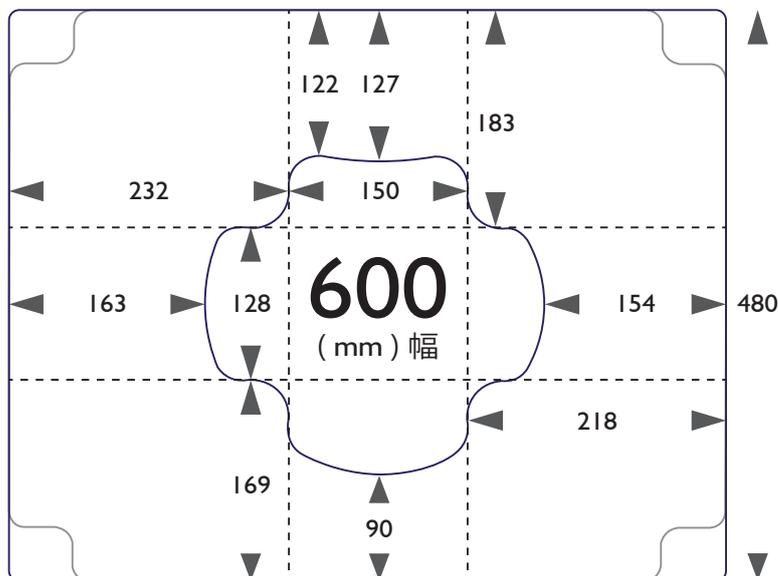
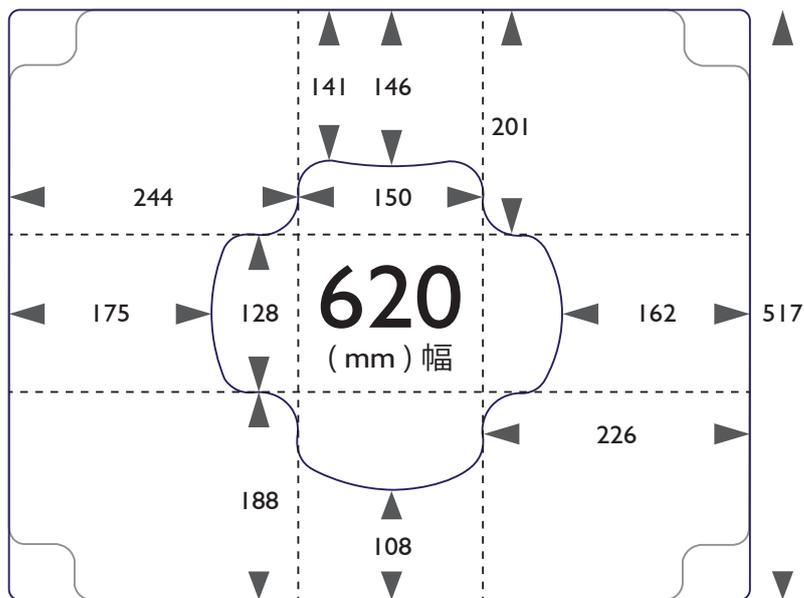
# Weefolk Board (ウィーフォーク ボード / 製品詳細は12ページ)

- 耐荷重 (特厚板の設定はございません)
- 4点脚の機器は 40kg
- 3点脚の機器・複数台は 30kg



## KT Board のくりぬき形状 (グラッドシリーズ・リジットシリーズ・ウィーフォークボード)

- 製造上、数mmの誤差が発生する場合がございます。予めご了承ください。
- こちらに表記されていない箇所の寸法や、オプション棚板 (44ページ参照) の寸法はお気軽にお問い合わせください。
- 320mm幅 (WF-320) は、KLボードのみのラインナップとなります。



## 有料オプション (グラウンドシリーズ・リジッドシリーズ)

### ● チタニウムトップマウント

¥28,600 (4個1組)

トップマウント(棚板のスパイク受け)を、付属のステンレス製から交換してアップグレード。サイレントマウントテクノロジー(15ページ参照)搭載による2重構造です。

音の美しさと静けさ、ストレスのない空間の広がり、より明瞭な音階と豊かな低音など、ラックの効果を一段と高めます。

キャンセルリング



チタン製ボディ

トップマウント  
(写真は標準のステンレス製)



### ● ロングトップスパイク

¥3,300 (4個1組)

棚板を支えるスパイクの延長バージョン。10mm高く設置できます。



## 内容品について

- グラウンドシリーズとリジッドシリーズ: 本体フレーム/棚板(段数分)/棚板用スパイク(段数分)/トップマウント(棚板用スパイク受け・段数分)/脚部スパイク/脚部のガタ調整工具(スパナ・棒)
- ウィーフォークボード: 本体(脚部ベース付き)/脚部スパイク/脚部のガタ調整工具(スパナ・棒)

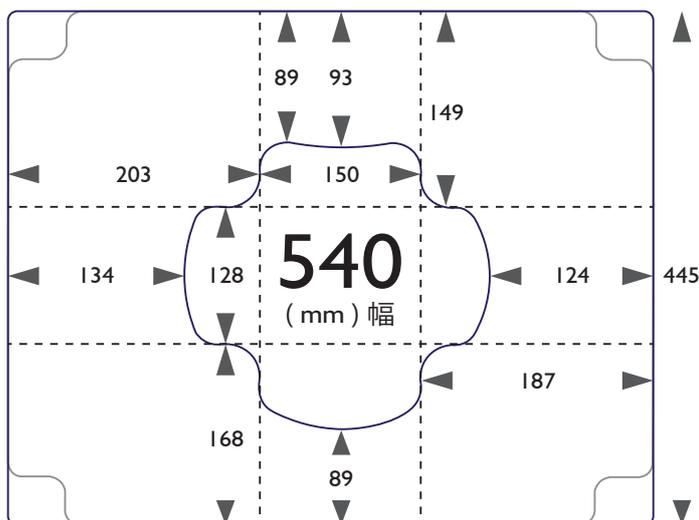
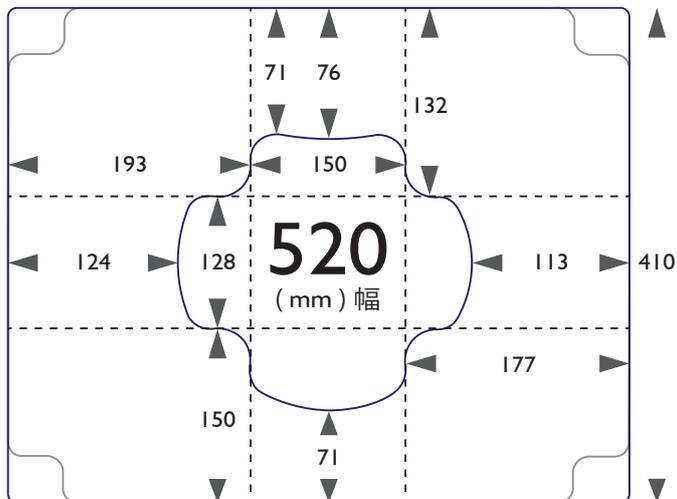
### ● ソリッドベースアタッチメント

¥39,600 (4個1組)

対象製品

GS491・GS492・GB490・ALT12・ALB12・ALB12/2

LINN LP12の原型に近いソリッドベース底板専用設計したアタッチメント。(最上段の)棚板と交換し取り付けます。



次ページは  
無料オプション(カラー等)  
をご紹介します



## 無料 オプション ( グランドシリーズ・リジッドシリーズ )

ラック類の価格に段数分の棚板等は含まれており、下記の内容に変更されても追加料金はいただきません。機器変更や紛失による部品の単品販売を希望される方は、お気軽にご相談ください。

### ● カラー

色見本のお貸出し ( 26 ページ ) も承ります。

棚板は 3 色 ( 上から )

- ・アメリカンチェリー
- ・ダークマホガニー
- ・ブラックオーク

フレームは 2 色

- ・シルバー
- ・ブラック



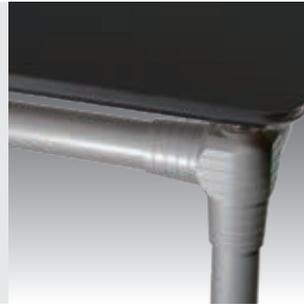
アメリカンチェリー  
×  
シルバー



ダークマホガニー  
×  
シルバー



ブラックオーク  
×  
シルバー



アメリカンチェリー  
×  
ブラック



ダークマホガニー  
×  
ブラック



ブラックオーク  
×  
ブラック



### ● 棚板の厚さ

14.4mm厚が標準ですが、重量級な機器を搭載される場合のみ、**17.4 mm 厚の特厚板**をご指定ください。下記の**耐荷重**も超過する場合は、事前に必ずご相談ください。

- 標準板に 4 点脚 : 50kg まで  
3 点脚・複数台 : 40kg まで
- 特厚板に 4 点脚 : 80kg まで  
3 点脚・複数台 : 70kg まで
- ラック全体の耐荷重 ( 寸法表に記載 ) にもご注意ください

**17.4mm** 特厚板

特厚板を使用した段は、標準板より上下の間口が 3 mm 狭くなります

### ● 棚板の形状

下記のように、形状のバリエーションも複数をご用意しております。KT ボード以外の寸法は、お気軽にお問い合わせください。



KT ボード ( 標準 )



( 穴が小さい )

KL ボード



( 穴なし )

ブランクボード



S ボード ( LP12 等に )



EMT930 ボード



ガラード301 ボード<sup>(※)</sup>

( ※ 401 用も有 / Ortofon ・ SME アーム等に対応 )

● アンダンテラルゴ製品の保証期間は、お買上げ日より3年間<sup>(※)</sup>です ●

万一の故障の際はご購入時のレシートのコピーを添え、裏表紙に記載の住所へお送りください。輸送に専用箱が必要な製品に関しましては、事前に弊社へご相談ください。期間内において製品の設計や製造不良に起因する故障と判明した場合、無償で修理・交換させていただきます。

レシートのコピーが無い場合や、製品以外の原因によるトラブル(衝撃や水分など/その他弊社規定による)は、期間内でも保証修理対象外(有料での修理や交換)となります。その他ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。

(※ SuperTMD シリーズは、製品に表記の使用期限までが保証期間となります)



公式ホームページ→  
QRコード



本カタログの表示価格は全て税込です。  
より良い製品づくりのため、仕様や価格等は  
予告なく変更させていただく場合がございます。  
2022年9月第1回発行(3.2k)

## アンダンテラルゴ 株式会社

〒189-0013 東京都東村山市 栄町 2-31-16-201  
フリーダイヤル(受付:月～土 10～18時): 0120-77-3412  
TEL: 042-393-3412  
FAX: 042-394-7155

メール: [info@andante-largo.com](mailto:info@andante-largo.com)  
ホームページ: [www.andante-largo.com](http://www.andante-largo.com)

取扱ブランド: アンダンテラルゴ・コードカンパニー・ハンル